

資料No. 1

令和 2 年度

事業報告書

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会

令和2年度社会福祉法人 西予市野城総合福祉協会事業報告書

はじめに

令和元年度に引き続き令和2年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に様々な影響を受けた一年でした。4月には初めて緊急事態宣言が出され、学校の臨時休校や企業のテレワークが始まり、感染症対策衛生用品などの品薄など、暮らしに落とす影が大きくなりました。感染拡大はその後、夏の第2波、冬の第3波、そして「変異株」を要因とする第4波が、これまでをはるかに上回るスピードで急拡大しています。

当法人においても、事業所内にコロナを持ち込まないために、健康チェック、手洗い、手指消毒等の基本的な感染防止対策を十分に講じていますが、やむを得ず面会制限、介護サービス利用の自粛要請により利用者の皆様、家族の皆様をはじめ関係者の皆様にはご心配、ご不便、ご迷惑をおかけしております。これまでの当法人の感染症対策にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

職員については、出張や研修会の制限や中止、不要不急の外出の自粛を要請しています。様々な感染防止対策に要する時間も多くなり、利用者へのサービスの質の低下や、職員の士気の低下にならぬよう情報伝達の方法を工夫し、ウェブでの会議や研修等を行っています。

又、感染拡大の状況によりますが、感染防止対策で全ての施設行事を止めるのではなく、感染防止対策をしっかりと行った上で、どのようにしたら計画した活動を継続できるのかを考え、開催場所や参加対象を創意工夫し、利用者の生活を支える取組みを行ってきました。

外国人介護人材雇用については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、技能実習生4名のミャンマーからの入国が半年遅れ、令和3年1月から雇用を開始しました。技能実習生は不安と期待の中日本にやって来ていますが、皆さん素直で優しくそして根気強くやる気があります。そんな実習生の一生懸命に働く姿を見て日本人職員も感化され、初心に戻ろうと思わせてくれるなど、職場の良い雰囲気が出来ています。技能実習生に対して仕事を教えることで、マニュアルの見直しや作業手順の見直しを行うことができています。祖国の情勢が気になるところではありますが、親元を離れ一生懸命頑張っている技能実習生達の、仕事や生活面でのサポートを継続していきます。

老朽化に伴う野村育成園建て替え及び法改正による野村学園事業編成並びに野村学園建て替えについては、一体的に計画を進めていくという方向性を示すことが出来ました。平成3年度から具体的な基本計画を作成し、利用者の生活環境を整えていけるよう勧めて参ります。

市内の施設において新型コロナウイルス感染が確認された際には、西予市内の社会福祉法人等が締結している協定に基づき、それぞれの法人が職員を応援派遣しました。今までの「顔の見える関係性」を築いてきた成果だと思います。この難局を協力して乗り越えられたことは、今後の地域福祉の実践を推進していくうえで更に連携強化が図られると思います。

令和2年度は、コロナ禍ではありましたが、工夫を凝らし試行錯誤しながら事業を進めて参りました。いろいろな方々にご迷惑をおかけしましたが、まだまだ新型コロナウイルス感染症の終息の目途は見えてきません。高齢者施設においては、利用者のワクチン接種が始まっています。これからも、利用者の方の安心・安全を守るため、感染対

策を徹底しながら、地域福祉にも寄与して参ります。又、令和3年度からの第4期中長期計画も策定いたしました。計画が達成できるよう一つひとつ取り組んで参ります。皆様方のご協力、ご支援をお願いいたします。

I 基本理念

- 共生～とともに生きともに育つ～

II 基本方針

- 私たちは利用者の尊厳を大切にしともに歩みます
- 私たちは家族との絆をともに深めます
- 私たちは夢を持ち笑顔でともに邁進します
- 私たちは安心して暮らせる地域社会をともに築きます
- 私たちは法令を遵守し信頼される法人をともに目指します

III 令和2年度重点目標達成状況

① 法人経営本部機能強化

各施設・事業所の通常の会計処理や収支予算・決算事務を主に本部で行いました。拠点ごとの会計処理や判断を減らし本部で一律に処理することで会計処理誤りが少なくなり、正確な決算をより迅速に実現することができます。又、施設で管理していた事業所の資金に関する通帳や積立金の定期預金証書を本部で一括管理し、事務処理の統一化、効率化を図りました。

人員配置は、本部事務職員を1名増員し、各施設の事務職員を1名の配置とすることで、法人全体で3名の事務職員減にすることができました。各施設の事務職員と連携を密にし、協力体制のもとで日々の業務に取り組んでいます。

人事・労務管理は既に本部集約ができていたので、令和2年度において全施設・事業の経理、総務、人事を集約する体制が整いました。

今後は、収支状況等の経営上の課題や、サービス提供等の事業運営上の課題について、具体的な情報を外部や法人内の各事業部門から収集し、組織的な経営を行っていきます。

② 障害児（者）支援施設の総合的な経営について、方向性を示し取り組む

障害児入所施設において18歳を過ぎても自宅や成人施設に移れない福祉型施設の「加齢児」が入所できる経過措置が令和3年3月31日までとなっていましたが、移行調整の枠組み等の議論に要する期間を考慮し、みなしひ規定の期限が令和3年度末まで延長されることになりました。

令和2年度では、そいうった状況を踏まえ、愛媛県南予地方局地域福祉課等と協議を重ね令和3年7月1日付で移行するよう申請の手続きを行うこととなりました。予定として障害者支援施設野村学園定員40名、第2障害者支援施設野村学園定員30名、障害児入所施設野村学園定員10名の3施設（以下「野村学園」という。）を経営することとなります。

野村学園の施設経営の方向性が示されたことにより、障害者支援施設野村育成園を含めた障害児（者）支援施設の総合的な経営について、理事会において協議を進めて

きました。

築40年で経年劣化の見られる障害者支援施設野村育成園の建て替えと野村学園の生活環境の整備、建物の老朽化、土砂災害の危険性、野村ダム湖畔近くという立地条件などを鑑み、野村学園についても障害者支援施設野村育成園と一体的に施設の建て替えについて計画を進めていく方向性となりました。

今後の障害福祉サービスのニーズ、地域の人口減少、少子高齢化、福祉人材の確保等を総合的に検討し、理事会、評議員会に諮りながら、令和3年度には建設基本計画を作成し本格的に進め行きます。

③ 広報活動、働き方改革、定年延長、外国人労働者雇用等の研究を行い、人材確保を図る

広報活動としては、パンフレットや広報誌、ホームページ等で情報を発信しています。内容としてマンネリ化してきているため、人材育成、情報収集・発信体制（報連相）づくり、組織の見える化などを進めていくという課題がありました。

社会福祉法人において広報活動は、法人としての活動を知ってもらうことにより地域からの信頼や期待を得るために重要なツールと言えます。ホームページやブログ、動画サイトの活用などの特性を活かし、求人活動にも活かしていくという目標については達成することができませんでした。

人材確保に向けてコロナ禍ではありますが、感染対策を十分に行い就職説明会等に参加しました。又可能な時期には南予地域の高校に出向き就職説明を行っています。

令和3年4月の正職員採用者は11名、臨時職員採用者は3名となっています。定年退職者8名の内7名が引き続き継続雇用として、継続雇用終了後の4名がパート職員として就労しています。パート定年70歳制を導入し、働く意欲がある高年齢者がその能力を十分に発揮できる環境の整備なども行ってきました。

子育てや、介護中の職員からの希望があれば、夜勤業務を外したり、就業時間の短縮、育児休暇、子の看護休暇、介護休業や介護休暇も気兼ねなく取得し、仕事との両立が出来る体制も整備しました。

仕事を終えてから次に働き始めるまでに一定の休息時間を確保する「勤務間インターバル制度」の導入については、令和3年度の目標として取り組んでいきたいと考えています。

外国人労働者雇用については、新型コロナウイルス感染症拡大により、当初計画していた入国予定より半年遅れになりましたが、令和3年1月にミャンマーから4名の技能実習生を迎えることができました。

令和元年度に技能実習生受け入れ施設や監理団体の視察研修、現地での面接などを実施し、令和2年度では受け入れに際して職員研修、住宅の確保、準備品の調整などを行ってきました。受け入れ施設の利用者や家族、職員、地域住民の理解と協力を得ながら、外国人が安心して仕事や生活ができるようサポートしています。

職員満足が利用者満足につながり、その結果として経営満足が達成されます。職員満足を満たすためには、職員にとってやりがいや生きがいが持てる仕事、組織であることが重要だと考えます。そのためには、重点目標の⑤、⑥、⑦についても併せて取り組む必要があると考えます。

④ 危機管理体制の強化を図る

近年は地震や豪雨災害など「50年に一度」「観測史上いまだない」といった言葉を毎年のように聞いています。更に令和元年12月に新型コロナウイルス感染症の発生が報告されて以来、感染症という災害と向き合う日々が続いています。いまだ終息の見通しは立たず、感染が拡大している状況です。私たち介護や支援の現場でも新型コロナウイルス感染症に対応した「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ対応しています。面会や外出の状況に合わせた制限など、利用者や家族には不自由な生活環境となりご迷惑をおかけしています。今後も利用者の安心・安全な生活を守っていきながら、感染拡大防止に努めて参ります。

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている中でも、これからも自然災害が襲ってくることが想定されます。ワクチンや治療薬ができるまでは自然災害と感染症の重複したリスクに同時に対応することになります。

令和2年度では、新型コロナウイルス感染症BCPを策定しました。災害についてのBCPは平成28年に策定していますが、重複したリスクに対応するBCPの作成には至っていません。早急に取り組む必要があります。

地域の福祉避難所としての使命もあります。西予市の五つの社会福祉法人と市が令和2年6月10日に西予市内社会福祉法人等災害時相互応援協定を締結しました。この協定に基き、令和3年1月西予市内グループホームでの新型コロナウイルス感染症発生時には、当法人からの応援職員5名を派遣し地域福祉に貢献することが出来ました。今後も関係機関と連携を密にし、地域に貢献していきます。

⑤ 成長支援制度について、継続して実施し、職員一人ひとりの成長を支援する。

平成28年度に制度に着手し、平成29年仮運用、平成30年本格運用し、本格運用から3年が経過しました。

開始当初は業務に追われる中、人事考課制度の流れを進めて行くこと自体が目的化しそうになりました。成長支援制度の目的は、単なる評価・処遇を決めるといったものだけでなく、制度の運用を通じて管理者・職員がともに成長していくこと。試行錯誤の運用プロセスを通じて職員一人ひとりの成長を支援すること。法人組織力を高めることを目指し新しい発見や成長点を見出すことなど、職員にしっかりと説明することで徐々に定着してきたと思います。

成長支援制度の運用サイクルは、法人理念や基本方針から導き出された法人中長期計画から施設目標、部門・チーム目標設定、各職員の目標設定に繋がり、目標を達成する手段として位置付けられます。個人の「成果」「成長」が法人全体の経営に大きな影響を与えているんだということを職員に認識してもらうことが重要です。

進捗支援、目標の振り返り、人事評価、評価調整、処遇決定、フィードバック、そして部門・チーム目標と一連の流れを実施してきました。目に見えた成果はもう少しかかりますが、継続しながら課題を解決していきたいと考えます。

令和2年度から各施設・事業所の成長支援の取りまとめを各施設長が担当するようになりました。成長支援制度を運用しながら、職員一人ひとりが大切な組織の一員であり、法人運営に携わっているというメッセージを伝えることが重要になってきます。職員意識の底上げに努めて参ります。

人事考課については、成長支援制度導入により昇進・昇格にも反映することができました。中長期的な評価のデーターも踏まえ、各施設の人事考課結果を持ち寄り評価者の評価のばらつきを調整して、年齢や経験年数に偏らず人事考課も重要な情報として加味しました。

成長支援制度の目的と役割を職員にきちんと浸透させ、職員が活き活きと働き成長出来るよう試行錯誤しながら継続していきます。

⑥ 法人の「経営理念」「るべき将来像」「期待する職員像」を明確化し職員に浸透、共有を図る。

「経営理念」については、職員会等で各施設とも周知を行っています。暗唱するだけでは意味はありませんが、まずはしっかりと法人の基本理念や基本方針を覚えるということが、行動に繋がってきます。

「るべき将来像」「期待する職員像」については、成長支援制度導入に当たり、職員アンケートを実施し、意見を集約して明確化しました。令和2年度は、進捗状況を評価する計画にしていましたが、抽象的な表現が多いため評価が難しく実施するに至りませんでした。反省として、進捗状況の評価をせずに進歩はありません。令和3年度は進捗状況の評価を行い、そこから問題点を探りたいと思います。

又、「るべき将来像」「期待する職員像」について職員アンケートを再度実施し、達成度ができるだけ数値化できるような項目も加えていきたいと思います。

「るべき将来像」「期待する職員像」を明確化し職員に浸透、共有を図ることについては、十分に達成することができませんでした。

⑦ 中長期計画実践に取り組みPDCAサイクルを機能させ継続的な経営改善に繋げる。

中長期計画の実践状況を定期的に検証し達成状況を確認しています。令和2年度は当年度の実績状況の確認、検証を行うとともに令和3年度からの第4期中長期計画の策定を行いました。

第3期中長期計画の成果と課題を分析し、達成できなかった計画については重点継続として、第4期中長期計画に取組事項として掲げています。今後もPDCAサイクルを機能させ継続的な経営改善に繋げていきます。

⑧ 地域共生社会に向け関係機関との連携を深め、地域ニーズを把握し地域における公益的な取組を深めていきます。

令和2年度はコロナ禍のため、関係機関連携の中心的な役割を果たしている西予市内5社会福祉法人連絡会の開催はできませんでした。この連絡会は、平成28年度から社会福祉法改正により「地域における公益的取組」が社会福祉法人の責務となったことを受け、西予市内の社会福祉法人が協力して実施できることはないか研修や協議を行って來たものです。連絡会には福祉事務所職員も各課毎に参加していただき、各法人、行政ともに顔の見える関係を築くことが出来ました。

そういう中、平成30年7月西日本豪雨災害をきっかけに、地震や風水害、感染症などの災害時に法人の枠を超えて社会福祉施設の運営を継続するための協力体制が必要性だと感じました。小委員会を立ち上げ協議し、平成2年6月に西予市内社会福祉

法人等災害時相互応援協定を締結しました。この協定には、「協定を締結した法人等以外にも西予市内における社会福祉施設・事業所についても、災害等における応援要請があった場合は、可能な限りこの協定の定める応援を行うこととする。」としています。

令和3年1月西予市内グループホームでの新型コロナウイルス感染症発生時に感染施設に職員を派遣する大変な状況でしたが、それぞれの法人共に心配事はありながらも西予市の取りまとめの下、2週間という派遣期間その後2週間の待機期間に速やかに対応できたのは、こういった顔の見える関係が築けていたからだと思います。この難局を協力して乗り越えられたことは、今後の地域福祉の実践を推進していくうえで更に連携強化が図られると思います。

IV 事業実施状況

期日	事業名	場所	適要
4月1日	辞令交付式	各施設・事業所	
5月18日	決算内部監査	野城ふれあい館	令和元年度決算チェック
5月19日	法人監事監査	野城ふれあい館	令和元年度決算チェック
5月27日	第1回理事会	野城ふれあい館	令和元年度事業報告・収支決算承認・他
6月10日	西予市社会福祉法人等災害時相互応援協定調印式	西予市市役所	
6月16日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援	野城ふれあい館	監査法人アシスト
6月17日	第2回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日	理事会決議省略	野村育成園拠点区分補正予算（第1号）
6月29日	第1回評議員会 評議員会の決議があったものとみなされた日	評議員会決議省略	令和元年度事業報告・収支決算承認・他
7月17日	養護老人ホーム奥伊予荘CO2削減事業入札	野城ふれあい館	
7月25日	第1期採用試験	野城ふれあい館	2名応募中2名採用
8月11日	法人後見運営委員会	野城ふれあい館	
8月14日	第3回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日	理事会決議省略	賃給与規則の一部を改正する規則制定 他
8月17日	養護老人ホーム奥伊予荘CO2削減事業契約	野城ふれあい館	
9月11日	第2回野村学園「どろんこのうた」版画詩作品展	子規博物館	
9月24日	第4回理事会	野城ふれあい館	規則改正 他
9月26日	第2期採用試験	野城ふれあい館	3名応募3名採用
10月12日	セントラルキッチン研修会	野村育成園	
10月24日	第3期採用試験	野城ふれあい館	6名応募6名採用
11月6日	第5回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日	理事会決議省略	
11月中	奉仕作業	各施設・事業所毎	
11月10日	内部監査	野城ふれあい館	上半期内部監査
11月17日	法人上半期監事監査	野城ふれあい館	法正園・しいのき園・寿楽苑・奥伊予荘
11月18日	法人上半期監事監査	野城ふれあい館	野村育成園・野村学園
11月19日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援	本部	監査法人アシスト
12月4日	第6回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日	理事会決議省略	規則改正 他
12月16日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援	野村育成園	監査法人アシスト
12月17日	シェイクアウトえひめ	各施設・事業所	
12月23日	グループホーム蘭感染に伴う西予市と社会福祉法人等支援会議	西予市役所	
1月14日	職員第1回公判	松山地方裁判所宇和島支部	

期日	事業名	場所	適要
1月18日	グループホーム蘭感染に伴う西予市と社会福祉法人等支援会議	西予市役所	
1月20日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援	野村学園	監査法人アシスト
1月20日～2月4日	グループホーム蘭応援職員派遣	グループホーム蘭	職員5名
1月21日	技能実習生（ミヤンマー）4名雇用	しいのき園2名・法正園2名	
1月27日	松山税務署土地収用に関する事前打ち合わせ グループホーム蘭感染に伴う西予市と社会福祉法人等支援会議	松山税務署 西予市役所	
2月1日	職員接見	西予警察留置場	
2月3日	西予市合同就職面接会	宇和文化会館	
2月4日～2月16日	グループホーム蘭応援職員派遣終了後待機	宿泊所・自宅	
3月16日	第7回理事会	野城ふれあい館	補正予算・事業計画・収支予算承認
3月17日	南予企業の魅力発信イベント	南宇和高校	
3月29日	第8回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日	理事会決議省略	規則改正 他
3月30日	第2回評議員会 評議員会の決議があったものとみなされた日	評議員会決議省略	規則改正 他
3月31日	退職辞令交付式	野城ふれあい館	定年退職8名中7名継続雇用

V 法人研修会

各階層に応じた研修会を行い、当法人で働く組織人として習得すべき知識や技能の向上を図り、組織マネジメントの強化を図るため計画していましたが、新型コロナ感染症感染防止のため中止しました。

(令和2年度研修会計画)

No.	研修日	時間数	対象者	研修テーマ名	備考
1	4月～5月	5日(40時間)	新任職員研修会	講師:大塚恭子 接遇対応向上	新型コロナ感染症感染
2	7月～11月	3日(24時間)	ネクストリーダー研修会	講師:大塚恭子 影響力を高めるコミュニケーション	防止のため中止
3	7月～11月	3日(24時間)	リーダー研修会	講師:大塚恭子 コーチング	
4	10月	2時間	地域連携講演会	認知症ケア	

VI 成長支援制度の取り組み

期日	会議名	検討内容	場所
4月17日	成長支援事務局会	今年度の取り組み 他	Web会議
5月11日	成長支援事務局会	今後のスケジュール 他	Web会議
5月21日	施設フォローWeb巡回	上期チーム目標設定ミーティング	法正園・しいのき園・奥伊予荘
5月25日	施設フォローWeb巡回	上期チーム目標設定ミーティング	野村育成園・野村学園・寿楽苑
6月11日	成長支援制度プロジェクト会議	目標設定・昇給昇格体系 他	Web会議
6月15日	成長支援研修	成長支援制度新任評価者研修	Web会議
7月6日	成長支援事務局会	人事考課とフィードバック・研修 他	Web会議
8月11日	成長支援制度プロジェクト会議	人事考課・昇給昇格体系・研修会 他	Web会議
9月8日	施設フォローWeb巡回	人事考課・チーム目標 他	野村育成園・野村学園
9月9日	施設フォローWeb巡回	人事考課・チーム目標 他	奥伊予荘・しいのき園・寿楽苑
9月15日	施設フォローWeb巡回	人事考課・チーム目標 他	法正園
9月24日	成長支援事務局会	昇進昇格体系・研修会 他	Web会議
10月8日	成長支援制度プロジェクト会議	人事考課・昇進昇格体系・研修会 他	Web会議
11月9日	成長支援制度研修会	リーダー研修 いまどき世代の育て方	Web研修

期日	会議名	検討内容	場所
11月11日	成長支援制度研修会	リーダー研修 いまどき世代の育て方	Web研修
11月12日	成長支援制度事務局会	昇進昇格体系・研修会 他	Web会議
11月19日	成長支援制度研修会	リーダー研修 目標設定勉強会	Web研修
12月10日	成長支援制度プロジェクト会議	人事考課票修正・昇進昇格体系 他	野城ふれあい館+Web会議
12月22日	成長支援制度研修会	職員研修 なぜなぜ分析研修会	Web研修
1月6日	成長支援制度研修会	職員研修 なぜなぜ分析研修会	Web研修
1月7日	成長支援制度事務局会	昇進昇格体系・スキルチェック表 他	Web会議
1月25日	成長支援制度研修会	職員研修 なぜなぜ分析研修会	Web研修
2月1日	成長支援制度事務局会	昇進昇格体系 他	Web会議
2月10日	成長支援制度プロジェクト会議	昇進昇格体系・下期目標・研修 他	Web会議
2月17日	成長支援制度研修会	職員研修 ヒューマンエラー防止研修	Web研修
2月25日	成長支援制度研修会	職員研修 ヒューマンエラー防止研修	Web研修
3月3日	成長支援制度研修会	職員研修 ヒューマンエラー防止研修	Web研修
3月5日	施設フォローWeb巡回	人事考課・チーム目標振り返り 他	奥伊予荘・法正園
3月9日	施設フォローWeb巡回	人事考課・チーム目標振り返り 他	野村学園・野村学園
3月16日	施設フォローWeb巡回	人事考課・チーム目標振り返り 他	しいのき園・寿楽苑
3月26日	成長支援事務局会	年度振り返り・昇進昇格体系 他	Web研修

VII 理事会

第1回理事会

期日 令和2年5月27日（水）

場所 野城ふれあい館

出席人数 理事6名、監事2名

○ 報告

報告番号	件名
報告 第1号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第2号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第1号）について
報告 第3号	野村学園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第2号）について
報告 第4号	法正園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第3号）について
報告 第5号	しいのき園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第4号）について
報告 第6号	寿楽苑関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第5号）について
報告 第7号	奥伊予荘関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第6号）について
報告 第8号	指定障害者支援施設野村育成園預り金管理規程の一部を改正する規程制定（専決処分第7号）について

報告番号	件名
報告 第9号	任期満了に伴う苦情解決第三者委員の任命について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第1号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第2号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員身元保証規程の一部を改正する規程制定について
議案 第3号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会正職員登用制度実施要綱の一部を改正する要綱制定について
議案 第4号	令和元年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業報告の承認について
議案 第5号	令和元度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会収支決算の承認について
議案 第6号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会令和2年度定時評議員会決議の省略について

第2回理事会

理事会招集手続の省略

期日 令和2年6月17日（水）（理事会の決議があったものとみなされた日）
人数 理事6名同意 監事2名確認

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第7号	令和2年度野村育成園拠点区分補正予算（第1号）について

第3回理事会

理事会招集手続の省略

期日 令和2年8月14日（金）（理事会の決議があったものとみなされた日）
人数 理事6名同意 監事2名確認

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第8号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第9号	養護老人ホーム奥伊予荘CO2削減事業請負契約の締結について
議案 第10号	令和2年度野村育成園拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第11号	令和2年度野村学園成人部拠点区分補正予算（第1号）について

第4回理事会

期日 令和2年9月24日（木）
場所 野城ふれあい館
出席人数 理事6名、監事2名

○ 報 告

報告番号	件 名
報告 第10号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第11号	職務執行状況の報告について

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案 第12号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第13号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第14号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会育児休業・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案 第15号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第16号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第17号	法正園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第18号	惣川高齢者生活福祉センター関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第19号	しいのき園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第20号	寿楽苑関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第21号	令和2年度野村育成園拠点区分補正予算（第3号）について
議案 第22号	令和2年度野村学園成人部拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第23号	令和2年度野村学園児童部拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第24号	令和2年度法正園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第25号	令和2年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第26号	令和2年度しいのき園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第27号	令和2年度寿楽苑拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第28号	令和2年度奥伊予荘拠点区分補正予算（第1号）について

第5回理事会

理事会招集手続の省略

期　日　令和2年11月6日（金）（理事会の決議があったものとみなされた日）
人　数　理事6名同意　監事2名確認

○ 議案審議

議案番号	件　名
議案 第29号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会法人後見業務預り金等管理規程の制定について
議案 第30号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会嘱託職員登用制度実施要綱の一部を改正する要綱制定について
議案 第31号	令和2年度野村育成園拠点区分補正予算（第4号）について
議案 第32号	令和2年度寿楽苑拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第33号	令和2年度修学支援事業拠点区分補正予算（第1号）について

第6回理事会

理事会招集手続の省略

期　日　令和2年12月4日（金）（理事会の決議があったものとみなされた日）
人　数　理事6名同意　監事2名確認

○ 議案審議

議案番号	件　名
議案 第34号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第35号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第36号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第37号	令和2年度野村育成園拠点区分補正予算（第5号）について

第7回理事会

期　日　令和3年3月16日（火）
場　所　野城ふれあい館
出席人数　理事6名、監事2名

○ 報　告

議案番号	件　名
報告 第12号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第13号	職務執行状況の報告について

○ 議案審議

議案番号	件　名
議案 第38号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会役員報酬規程の一部を改正する規程制定について

議案番号	件名
議案 第39号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第40号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第41号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第42号	惣川高齢者生活福祉センター関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第43号	職員の懲戒処分について
議案 第44号	令和2年度野村育成園拠点区分補正予算（第6号）について
議案 第45号	令和2年度野村学園成人部拠点区分補正予算（第3号）について
議案 第46号	令和2年度野村学園児童部拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第47号	令和2年度法正園拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第48号	令和2年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第49号	令和2年度しいのき園拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第50号	令和2年度寿楽苑拠点区分補正予算（第3号）について
議案 第51号	令和2年度奥伊予荘拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第52号	令和3年度給食業務委託契約更新について
議案 第53号	令和3年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業計画について
議案 第54号	令和3年度就労支援事業所あおぞら農地の取得計画について
議案 第55号	令和3年度野村育成園拠点区分収支予算について
議案 第56号	令和3年度野村学園成人部拠点区分収支予算について
議案 第57号	令和3年度野村学園児童部拠点区分収支予算について
議案 第58号	令和3年度法正園拠点区分収支予算について
議案 第59号	令和3年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分収支予算について
議案 第60号	令和3年度しいのき園拠点区分収支予算について
議案 第61号	令和3年度寿楽苑拠点区分収支予算について
議案 第62号	令和3年度奥伊予荘拠点区分収支予算について
議案 第63号	令和3年度修学支援事業拠点区分収支予算について

議案番号	件名
議案 第64号	令和3年度法人後見事業拠点区分収支予算について
議案 第65号	施設長等の選任及び解任について
議案 第66号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会補欠理事候補者の推薦について
議案 第67号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会補欠評議員選任・解任委員の選任について
議案 第68号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会令和2年度第2回評議員会決議の省略について

第8回理事会

理事会招集手続の省略

期日 令和3年3月29日（月）（理事会の決議があったものとみなされた日）

人数 理事6名同意 監事2名確認

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第69号	令和2年度野村学園児童部拠点区分補正予算（第3号）について

VIII 評議員会

定時評議員会

評議員会招集手続の省略

期日 令和2年6月29日（月）（評議員会の決議があったものとみなされた日）

人数 評議員7名同意

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第1号	令和元年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会収支決算の承認について

第2回評議員会

評議員会招集手続の省略

期日 令和3年3月30日（火）（評議員会の決議があったものとみなされた日）

人数 評議員7名同意

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第2号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会役員報酬規程の一部を改正する規程制定について
議案 第3号	令和3年度就労支援事業所あおぞら農地の取得計画について
議案 第4号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会補欠理事の選任について

IX 専門委員会実施状況

委 員 会	実 施 回 数	内 容
統括委員会	28	経営管理・整備・研究
広報委員会	4	広報誌3回発行、協会パンフレット、ホームページ作成
エルダー委員会	1	エルダー制度の目的確認、各施設への周知、制度の構築
研修委員会	1	階層別研修、地域連携講演会、継続研修会等の計画実施
外国人雇用推進委員会	4	介護人材確保と環境つくり。職場定着と地域定着
総務・財政委員会	4	経営分析、労務管理、事務効率化、規則整備の準備
種別部会（高齢者福祉部会）	5	制度・施策改正情報の収集、事業の評価、課題の抽出、利用者満足度調査
種別部会（障害・児童福祉部会）	6	制度・施策改正情報の収集、事業の評価、課題の抽出、利用者満足度調査
中長期委員会	4	計画策定、状況確認、評価
情報管理委員会	3	情報システムの適正な利用と運用。情報資産のセキュリティ並びに業務で取り扱う電子データの完全性と安全性を確保する
危機管理委員会	1	感染症対策（BCP策定）（BCP）訓練
安全衛生委員会	1	ストレスチェック制度実施説明
ステップ委員会	4	奉仕作業、地域行事参加、ボランティアコーディネート

X 資格取得状況

(人)

	介護福祉士	介護支援専門員	社会福祉士	精神保健福祉士	看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	管理栄養士	保育士
令和2年4月1日	171	24	12	1	10	17	1	2	10	22
令和3年4月1日	180	33	12	1	11	16	1	1	11	24
増減	9	9	0	0	1	-1	0	-1	1	2

XI 令和2年度 地域における公益的な取組

法人本部

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
	7月14日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2		無料	ハツラツ会
	7月28日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2		無料	ハツラツ会
	8月11日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2		無料	ハツラツ会
	8月25日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2		無料	ハツラツ会
	9月 8日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2		無料	ハツラツ会
施設開放	9月20日	ミニージックケア研修	野城ふれあい館ホール	7		無料	愛媛ミュージック・ケア研究会
	10月11日	ミニージックケア研修	野城ふれあい館ホール	7		無料	愛媛ミュージック・ケア研究会
	10月13日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2		無料	ハツラツ会
	10月25日	ミニージックケア研修	野城ふれあい館ホール	7		無料	愛媛ミュージック・ケア研究会
	10月27日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2		無料	ハツラツ会
	11月 8日	ミニージックケア研修	野城ふれあい館ホール	7		無料	愛媛ミュージック・ケア研究会
	11月10日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2		無料	ハツラツ会
	11月19日	脳血管障害者会議	野城ふれあい館マルシェ	3		無料	ててるてる会
	11月22日	ミニージックケア研修	野城ふれあい館ホール	7		無料	愛媛ミュージック・ケア研究会
	12月 8日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2		無料	ハツラツ会
	12月22日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2		無料	ハツラツ会
	3月22日～24日	車椅子貸出		2日		無料	個人
奨学金事業	令和2年度	2名奨学生に奨学金を貸与				1,200,000	
就職準備貸付金事業	令和2年度	6名に就職準備貸付金を貸与				1,800,000	
奉仕作業	10月中	法人奉仕作業	野村・城川地区	3	111		

令和2年度 地域における公益的な取組

野村育成園					
取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数
ハート&ハート	8月8日	ミュージック・ケアの実践	久保谷	2時間	1名
	9月19日		上下氏宮	2時間	1名
	3月15日		城川高川	3時間	1名
	3月25日		城川土居	3時間	1名
幼稚園芋植え	6月16日	芋植え交流	野村育成園	2時間	8名
幼稚園芋ほり交流	10月13日	芋ほり交流	野村育成園	2時間	8名

令和2年度 ハート&ハート事業報告

【確認】

社会福祉法人における地域貢献に向けた「1 法人（施設） 1 実践」活動を実践する。

【事業目的】

社会福祉法人の使命である「地域福祉における福祉の増進」の一環として、「地域社会とともに歩む社会福祉法人」を目指す。

法人が自ら地域の中に入していくことで、潜在的な地域のニーズを把握し、法人としての今後のサービスの展開に結び付けていく。

また法人・個人としての技術・技能を地域に提示していく過程において、そのスキルアップや人材の育成に結び付けていく。

【事業内容】

野村町内や城川町内のいきいきサロンに出向き、ミュージック・ケアや和みの場を体験していただく。

謝礼や講師料、交通費は頂かない。

ミュージック・ケアについては、その技術を提供できる職員1名と出来うる範囲でサブの職員が同行する。

【周知方法】

1 社協と連携し、町内のいきいきサロン役員へチラシの送付

2 地域包括支援センター、生活福祉課への依頼

【実施状況】

	実施日	地区名	会場
1	8月8日	久保谷	集会所
2	9月19日	氏宮	集会所
3	3月15日	城川高川	公民館
4	3月25日	城川土居	公民館

【反省と今後の課題】

サロンの責任者や地区担当保健師から依頼を頂き今年度は4回事業を実施した。年々、依頼が減っていたが今年度はコロナの影響もあり、さらに依頼が無かつた。サロン自体の参加者が減り、継続が難しいといった声も聞かれているが、城川町では保健師の健康チェックを兼ねた集会に呼んでもらっている。

サブの職員を確保することが出来ず、一人で伺うことが多かった。事業が衰退していくかのようにサロンへの広報活動や申し込み書の配布等社協にも協力を頂きながら積極的に行っていきたい。

各施設に情報発信を行い法人全体で取り組んでいく体制の確立を目指したい。また、コロナ禍でもセッション出来るような内容の検討、換気を十分に取りながら実施したい。

令和2年度 地域における公益的な取組

野村学園							
取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	負担費用	備考
	7月 1日	剪定作業、片付け	園周辺市道	2 時間	2名(+1.6名)		
	8月 24日	道路清掃	園周辺市道	2 時間	2名(+0.9名)		
	9月 2日	道路清掃	園周辺市道	2 時間	2名(+1.6名)		
	9月 9日	剪定作業、片付け	園周辺市道	2 時間	2名(+1.6名)		
	9月 14日	道路清掃	園周辺市道	2 時間	2名(+0.7名)		
	10月 29日	道路清掃	園周辺市道	2 時間	2名(+0.9名)		
公道管理	11月 25日	道路清掃	園周辺市道	2 時間	2名(+1.6名)		
	11月 27日	道路清掃	園周辺市道	2 時間	2名(+0.7名)		
	11月 30日	道路清掃	園周辺市道	2 時間	2名(+1.6名)		
	12月 1日	道路清掃	園周辺市道	2 時間	2名(+1.6名)		
	12月 15日	道路清掃	園周辺市道	2 時間	2名(+0.9名)		
	1月 14日	道路清掃	園周辺市道	2 時間	2名(+0.7名)		
	2月 18日	道路清掃	園周辺市道	2 時間	2名(+0.9名)		
	3月 25日	道路清掃	園周辺市道	2 時間	2名(+0.7名)		
清掃活動	毎月 1回	ゴミ拾い	学園・ダム周辺	2 時間	3名(+1.6名)		
人材育成	10月 12日～24日	保育実習生受入（松山東雲女子大学2名）	野村学園	8 時間	6名	10日間かつ30時間以上	
	3月 8日～20日	保育実習生受入（松山東雲短期大学2名）	野村学園	8 時間	6名	10日間かつ30時間以上	
学園祭交流会	11月 9日	イベント交流	野村学園	4 時間	20名		

野村学園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	負担費用	備考
エコチャップ収集	年間通じて	エコチャップ収集	多數				
	7月29日	エコチャップ出荷	松山	5時間	1名		
	10月2日	エコチャップ出荷	松山	5時間	1名		
物品貸し出し	5月1日～6月15日	チエンソー	愛宕美化クラブ				
	6月22日～7月5日	空き缶プレス機	宇和特別支援学校				
	8月9日～11日	かき氷機	緑ヶ丘組				
	10月24日～26日	ワイヤレスアンプ	西予市ソフトバレーチーム大会				

令和2年度 地域における公益的な取組

法正園						
取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	費用
法人減免	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	法正園	－	－	310,517 利用者2名
	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	デイサービスセンターふれあい	－	－	17,484 利用者1名
お試しデイ	4月～3月	新規利用者に対してお試しで利用していただく	デイサービスセンターふれあい	1日	－	8,000 利用者8名
なごみホール貸出	7月～3月	西予市社会福祉協議会規制緩和デイサービス利用	法正園	1日	－	無料 86日利用

令和2年度 地域における公益的な取組

しいのき園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	負担費用	備考
法人減免	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	特別養護老人ホームしづくら	-	-	¥343,851	利用者2名
野村高校前講座	11月19日	高齢者疑似体験	野村高校	3時間	3		3クラス：67名

令和2年度 地域における公認的な取組

寿楽苑

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	負担費用	備考
法人減免	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	デイサービスセンター寿楽苑	－	2,515	利用者1名	
お試しデイ	4月～3月	新規利用者に対してお試しで利用	デイサービスセンター寿楽苑	1日	－	0	8名利用
入浴サービス	4月～3月	障害者生活支援（生きがい事業代替え）	デイサービスセンター寿楽苑	1日	－	45,000	9回利用

令和2年度 地域における公益的な取組

奥伊予荘・惣川高齢者生活福祉センター

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
福祉体験学習	10月26日	城川中学校2年生～28日	奥伊予荘				参加者2名
備品貸出	3月25日	近隣地域要介護者へのボーナスブルトイレ試用貸出	奥伊予荘				1名利用
お試しデイ	4月～3月	新規利用者に対してお試しで利用	惣川高齢者生活福祉センター				3名利用

XII 事業所別事業報告

【障害・児童福祉部】

令和2年度は、障害・児童福祉部において、今後の在り方を決める大きな節目の年になりました。施設の老朽化の進んだ野村育成園の建替えと、加齢児の措置延長をしないという国や県の方針に基づいた野村学園児童部の在り方を決定しなくてはならない事案が、大きく前進しました。

両施設は当法人の主要事業であり、経営的にも重要な位置を占めているため、総合的に考える必要があります。西予市の労働人口の減少や高齢化率の進み具合も含めて考慮し、集約した施設を作り、安定した経営を目指していくこととなりました。具体的には、野村育成園のグランド周辺に野村育成園を建設、完成後に旧野村育成園跡地に野村学園を移転します。野村学園は、県の指導もあり児童部を本来の障害児入所施設と障害者支援施設の2拠点に区分し、成人人部と合わせて3拠点に変更した上で、新施設の建物を建設する方向となりました。

また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、利用者の生活や帰宿面会などに制限を加えざるを得ない状況が続いています。西予市内にクラスターが発生した際には、障害の分野からも応援要請に応え派遣をしています。職員やその家族にも協力を得ながら何とか施設にウイルスを持ち込まないように努めるとともに、利用者には楽しみのある生活、落ち着きのある暮らしを提供していくために、日々工夫を重ねながら支援に当たってきました。

施設内の個々のニーズに対応するとともに、地域からの様々な要望に応えるべく関係機関と協力しながら、健全な運営に努めているところです。

1. 障害者支援施設野村育成園

(1) 行動指針

- ア 利用者の意志及び人格を尊重し、常に相手の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- イ 利用者や家族の意向を把握し、連携してサービスの充実に努めます。
- ウ 笑顔で過ごすことのできる生活の場と活動の場を提供していきます。
- エ 施設や職員の持つ知識、資格を生かし、地域福祉の増進に貢献します。
- オ 信頼される職員、施設、法人となるよう自己研鑽に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	機能低下防止への取り組み	<ul style="list-style-type: none">・機能訓練や創作活動、園外歩行等、個々の能力や状態に応じた活動に取り組み、日中活動の充実を図りました。・午後は、OTによる個別のリハビリを実施し、定期的なカンファレンスも行いました。
	個別支援計画の充実	<ul style="list-style-type: none">・カンファレンスの為家族に要望をお聞きし本人だけでなく家族の意向も個別支援計画に取り入れ実践しました。・利用者や家族のニーズに基づいたサービスの提供を目指し、コロナ禍でも出来る外出等を実施しました。・顧客満足度調査を実施、意向の確認を行いました。
	ご家族との信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none">・各担当が月に1回は電話連絡を行い、利用者の近況報告を行いました。・年4回、家族へ利用者の写真と出納帳のコピーを送付しました。

	高齢化・看取り対応への基盤づくり	・今年度喀痰吸引研修はコロナウイルス流行により延期となっていますが再開次第随時研修への参加をしていきます。
社会に対する基本姿勢	地域貢献	・地域のサロンに出向くハート&ハートを実施することにより「地域社会とともに歩む社会福祉法人」を意識づけていくことに繋がったと思われます。
	開かれた施設づくり	・コロナ禍で夏休みのボランティアの受け入れは実施できませんでした。新型コロナウイルスの流行初期も、日中一時や短期入所の受け入れを行い地域支援の役割を果たしました。 ・地域の銀行でクラフト展示会を開催し園内での取り組みの様子を地域の方に知って頂きました。
福祉人材に関する基本姿勢	資格取得の推進	・介護福祉士実務者研修2名、強度行動障害研修4名、サビ管研修2名受講しました。 ・介護福祉士国家試験3名合格しました。
	魅力ある職場作り	・成長支援制度を実施し、チーム目標を掲げリーダーを中心に一丸となって目標に取り組む姿勢が見られました。 ・月に一回産業医との面談やストレスチェックを実施し回収率100%を達成しました。
マネジメントに対する基本姿勢	園内研修の充実	・2ヶ月に1度園内研修を実施し感染症・虐待防止研修、オンラインによる外部講師を招いて障害を有する利用者への対応をテーマとした研修等を実施しました。 ・強度行動障害のある利用者の対応を他機関とも協力しながら取り組んでいます。 ・虐待チェックリストを実施し気づきを促しました。 ・介護技術伝達講習で習得した技術を職員間で共有する場を設け支援に生かしています。 ・施設職員が講師となり、研修で学んだことを発表する場を設け、互いに学びを深め合っています。 ・先進地の状況や新しい取り組みを学ぶため、県内の施設を訪問、見学、交流等を行い、職員の意識向上に努めています。
	施設入所定員数の確保及び見直し	・2年度1名の方が亡くなられ実人員減となっていますが、補充はしていない状態です。施設建て替え時の定員見直しと合わせて、今後入所受け入れも検討していく予定です。 ・令和4年度に建替える方針を明確にし、それに向けた準備を行っているところです。
	人材育成とコンプライアンスの徹底	・エルダー制度を導入し、人材育成に取り組みました。 ・職員会で法人理念を唱和し周知を図りました。 ・虐待研修48名の職員が参加しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	その他の
4月	園内レクリエーション開催	新人説明会 成長支援チーム目標・個人目標設定 防火管理、緊急時対応研修	県・南予総会(書面) 出納帳等送付

5月	広報誌発行 希望外出 全園作業 園内レクリエーション開催		家族会役員会(書面) 南予ソフトボール大会 (中止)
6月	芋植え交流会(幼稚園) 全園作業 園内レクリエーション開催 希望外食	同行援護 研修 成長支援 研修 虐待チェックリスト(1回目)実施 園内職員研修会(介護技術)	南予レクバレー大会 (中止) 家族えがおの集い(中止)
7月	園内レクリエーション開催 ・収穫でバーベキュー 希望外食	介護福祉士実務者研修 強度行動研修	出納帳等送付
8月	希望外出 健康診断(1回目)	甲種防火講習 成長支援 研修 園内研修(防災について) 救命救急講習会(3名受講) 行動援護研修	南予施設福祉施長会
9月	歯科検診(こまどり号) 調理実習 希望外出 Tシャツアート展覧会 たこ焼きパーティー 軽作業慰労会	障害者虐待防止・権利擁護 成長支援 研修 同行援護 研修 運転管理者講習 園内職員研修会(障がい特性) 防災士研修(4名) 介護福祉士実務者研修	介護技術伝達講習
10月	芋掘り交流会(幼稚園) 広報誌発行 希望外出 お楽しみ給食 オンラインコンサート開催 インフルエンザ予防接種 園内レクリエーション開催 ・新米を食べようの会	先進地施設見学 園内職員研修会 (危険予知・感染症予防) ネオスケアの説明 成長支援チーム目標・個人目標設定 MC研修 権利擁護推進の為学習会 相談支援者初任者研修 サビ管研修(基礎)	出納帳等送付 ワックスかけ
11月	健康診断(2回目) 希望外出(自宅訪問・外食 ・紅葉狩り)	MC研修 強度行動研修(基礎) 成長支援 研修	協会内奉仕作業 介護技術伝達講習
12月	クリスマス会 餅つき 希望外出 忘年会	南予職員合同研修会(中止) 虐待チェックリスト(2回目) 南予企画委員会(書面) 園内職員研修 (虐待防止・身体拘束) 強度行動研修 防災に関する研修会	シェイクアウト愛媛 介護技術伝達講習
1月	希望外出 初詣 歳祝い 新年会 広報誌発行		介護技術伝達講習 出納帳等送付

2月	希望外出 節分 のしろクラフト展	県障がい者虐待研修 職員研修オンライン（認知症を発症した知的障がい者の支援） 成長支援 研修 四国地区施設長会（Zoom）	介護技術伝達講習
3月	希望外出 ひな祭り お別れ会 軽作業慰労会	成長支援 研修	家族会 役員会 介護技術伝達講習
毎月	運営委員会、各寮会、支援体制委員会、イベント委員会、生活保健給食環境・安全衛生管理委員会、のいくネットワーク（サービス・苦情・虐待・拘束）、研修委員会 日中活動委員会、身体計測、誕生会メニュー、バイキング昼食、リクエストメニュー 産業医来園		
定期	カンファレンス（6ヶ月毎・入退院時・必要時）、職員会（4月及び奇数月） エルダー委員会、防災対策委員会		
随時	避難訓練、個別希望外出、嗜好調査、園内職員研修、感染症対策委員会 医療行為対策委員会、入所検討委員会		
毎日	嚥下体操、機能訓練（機能訓練・軽作業）		

（4）施設入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,400	2,208	92.0%	99.2%
5	2,480	2,308	93.1%	97.4%
6	2,400	2,237	93.2%	96.3%
7	2,480	2,282	92.0%	93.1%
8	2,480	2,256	91.0%	92.6%
9	2,400	2,231	93.0%	96.1%
10	2,480	2,319	93.5%	96.8%
11	2,400	2,236	93.2%	98.0%
12	2,480	2,266	91.4%	95.8%
1	2,480	2,249	90.7%	93.9%
2	2,240	2,034	90.8%	92.4%
3	2,480	2,254	90.9%	92.5%
合計	29,200	26,880	92.1%	95.3%

（5）生活介護利用者利用状況等

月	入所可能人員	人所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,760	1,613	91.6%	99.3%
5	1,840	1,719	93.4%	98.0%
6	1,760	1,629	92.6%	96.1%
7	1,840	1,679	91.3%	93.6%
8	1,840	1,661	90.3%	92.3%
9	1,760	1,632	92.7%	96.1%
10	1,840	1,715	93.2%	96.6%
11	1,760	1,624	92.3%	98.2%
12	1,840	1,686	91.6%	97.2%
1	1,840	1,694	92.1%	95.4%

2	1,600	1,450	90.6%	92.1%
3	1,840	1,664	90.4%	92.0%
合計	21,520	19,766	91.8%	95.6%

(6) 短期入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	60	20	33.3%	28.3%
5	62	21	33.9%	30.6%
6	60	26	43.3%	23.3%
7	62	38	61.3%	66.1%
8	62	43	69.4%	72.6%
9	60	17	28.3%	63.3%
10	62	15	24.2%	32.3%
11	60	27	45.0%	25.0%
12	62	25	40.3%	25.8%
1	62	17	27.4%	30.6%
2	56	18	32.1%	25.0%
3	62	34	54.8%	24.2%
合計	730	301	41.2%	37.4%

(7) 入所者障害支援区分別 (R3年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6	平均支援区分
2	9	34	29	5.2

男性 39名 女性 35名

平均年齢 62歳 5ヶ月 最高齢 85歳

2. 共同生活事業所かぜ

(1) 行動指針

- ア 利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- イ 家庭との結びつきを重視し、ご家族とご利用者の絆を大切にした支援を行います。また、ご家族への連絡・報告にも気を配ります。
- ウ 利用者の障がいに対する正しい理解とエンパワーメントの視点を大切にし、より自立した生活ができるよう、夢を持ち支援を行います。
- エ 地域との結びつきを重視し、誰もが住みやすい地域社会の構築に向けて努力します。
- オ 職員は専門性を高め、相互の連携を密にし良好なチームワークの確立に努め、関係法令を遵守した支援を行います。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
	利用者の意向に沿った支援の実施	・定期的なカンファレンスを実施し、本人の思いを大事にした個別支援計画を作成し、支援の実施に努めました。
利用者・家族に対する基本姿勢	高齢化・重度化に対応した夜間支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・きぼうホームの宿直体制継続中。 ・きぼうホーム利用者1名情緒不安定な状態になる事が時々ある為、宿直職員による対応や電話連絡により、かぜ職員が対応しています。場合により、かぜ職員が宿直業務を交代し、対応する事もあります。 ・令和2年度においては、利用者への感染症の蔓延はなく、夜間各ホームへの巡視や対応する事はありませんでした。 ・平成30年4月より施行された日中サービス支援型共同生活援助について、四国地区知的障害者福祉協会内では唯一、愛媛県のまさき育成園が日中サービス支援型を始めており、令和2年10月視察研修として、社会福祉法人 新居浜愛育会 グループホームまさきの里を見学。高齢期を迎えて、移動動作、日常生活において全面的な支援が必要な方が入所されており、利用者の方に安らげる生活の場を提供されていた。令和4年度の育成園建て替えに伴う、日中サービス支援型共同生活援助事業の開始は実現できないが、今後の大きな課題である、高齢化、重度化に対応する、日中サービス支援型共同生活援助について、情報収集に努め、利用者のより豊かな暮らしを支えていくよう取り組んでいきます。
社会に対する基本姿勢	地域住民との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策として地方祭や地域のイベント等、中止や延期となり、地域の方と交流することができませんでした。 ・ホームの避難訓練時、隣家、タクシー会社等に協力を依頼し、地域の方々への理解と緊急時の連絡体制を確保できるよう努めています。 ・地域の方から利用者の情報提供があった際には、利用者が持つ障がいの理解と配慮を頂けるよう努めています。
	資格取得の推進	・行動援護従業者養成研修受講終了者1名。

福祉人材に対する基本姿勢	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修として、サービス管理責任者、支援員については野村育成園の職員研修に2ヶ月に1度参加。その他に「世話人研修会」として、「防災」「栄養管理」「感染症対策」「虐待」について研修を実施。 世話人研修会として、サービス管理責任者が講師を行い、防災、感染症対策、虐待についての研修会を行う。 市の保健師に講師を依頼し「栄養管理」についての研修を行いました。
	マネジメント力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 法人内なぜなぜ分析研修1名受講 法人内ヒューマンエラー防止研修1名受講
マネジメントに対する基本姿勢	今後のGHの方向性について	<ul style="list-style-type: none"> 外部サービス利用型及び、日中サービス支援型の情報収集を行うと共に法人内他事業所との情報交換を行い、事業所としての構想を経営青年部会にて報告しています。
	人材育成とコンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> 世話人スタッフ会にて仕事に対する基本姿勢やモラルについて話し合っています。 人材育成や定着等について、視察研修の折に情報収集に努めています。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	その 他
4月		GHスタッフ研修会 (防災)	
5月		園内研修会 (支援)	
6月	ホーム別希望外出		
7月	ホーム別希望外出		
8月	定期健診		
9月	こまどり号歯科検診 ホーム別希望外出	GHスタッフ研修会 (栄養管理について)	
10月	幼稚園芋堀交流 先進地施設見学 (まさきの里)	園内研修会 (虐待、 感染、身体拘束)	西予市定期健診(対象者)
11月	インフルエンザ予防接種 乙亥祭 ホーム別希望外出	GHスタッフ研修会 (感染症対策について)	
12月	大掃除 利用者忘年会 (ホーム別) クリスマス会 (ホーム別)		
1月	初詣 (ホーム別)	法人内研修会	

2月	ホーム別希望外出 法人内研修会 GHスタッフ研修会 (虐待)	花火	
3月	花見（ホーム別）		軽トラ市（ホーム別）
新型コロナウイルス感染防止の為、地域行事や各種イベントが中止となり、事業所での行事も中止やホーム別での対応をした。			
毎月	運営委員会・のいくネットワーク・世話人スタッフ会		
定期	カンファレンス・職員会（2ヶ月に一回）		
随時	避難訓練・ホーム別外出・内部研修会・法人研修会		

（4）利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	690	689	99.9%	99.7%
5	713	708	99.3%	98.3%
6	690	688	99.7%	99.9%
7	713	708	99.3%	99.3%
8	713	704	98.7%	97.1%
9	690	678	98.3%	99.4%
10	713	712	99.9%	100.0%
11	690	678	98.3%	99.6%
12	713	694	97.3%	96.8%
1	713	674	94.5%	95.8%
2	644	639	99.2%	99.6%
3	713	699	98.0%	100.0%
合計	8,395	8,271	98.5%	98.8%

入居者支援区分別 (R3年3月末現在)

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0	2	14	7	0	0

平均区分度 3.2

男性 17名 女性 6名

平均年齢 57.0歳

3. ヘルパーステーション・ハート

(1) 行動指針

- ア 利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- イ 安心・安全なサービスが提供できるよう、知識とスキルの向上を目指し研修や資格取得の機会を設けます。
- ウ いつまでも、その人が望む暮らしが実現できるよう、その人らしく生活できるよう地域生活を支えるお手伝いをします。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	利用者様の意思を尊重し個々に応じたサービスを提供する	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅、居住サービス（ホームヘルプサービス・同行援護・行動援護）において、適宜、カンファレンスを実施し、利用者の思いを汲み取り環境に見合った適切なサービスの提供を心掛けています。コロナ感染拡大防止対策の為、地域生活支援事業（移動支援）は実施できませんでした。 ・強度行動障がい支援者支援計画シートと手順書作成を行いました。
社会に対する基本姿勢	地域関係機関との連携 高齢化と増設に伴う地域グループホームへの派遣業務	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活事業所（かぜ）・相談支援事業所（こすもす）・野村育成園・他の居宅事業所等と連絡調整、情報交換を緻密に行う事により、円滑な運営やサービスの提供が出来るよう努めました。また、スタッフ間での情報共有にも努めてきました。 ・情報収集に努めてきました。
福祉人材に関する基本姿勢	定着に向けた人材の確保 職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・同行援護従業者資格（一般・応用）を取得しました。（2名） ・視覚障がい福祉セミナーに参加し、知識習得を図りました。 ・精神障がい者支援の障がい特性と支援技法を学ぶ研修に研修に参加～サビ提 ・防災研修会に参加～サビ提
マネジメントに対する基本姿勢	事業拡大と事業所整備 人材育成とコンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者が2名、サービスの利用回数が増えた方が1名おられました。 ・施設内の研修や他機関の講習等、積極的に参加し、資格取得や自己研鑽に努めています。

(3) 行事報告

月	業務	研修(OJT)	その他(行事)
4月	居宅介護・同行援護 行動援護		

5月	居宅介護・同行援護 行動援護 移動支援 定期健診		
6月	居宅介護・同行援護 行動援護	虐待チェックリスト（1回目）実施	
7月	居宅介護・同行援護 行動援護		
8月	居宅介護・同行援護 行動援護	防災研修	
9月	居宅介護・同行援護 行動援護	同行援護（一般）研修 同行援護（応用）研修	
10月	居宅介護・同行援護 行動援護	園内職員研修 (危険予知・感染症)	
11月	居宅介護・同行援護 行動援護・移動支援		
12月	居宅介護・同行援護 行動援護	虐待チェックリスト（2回目） 園内職員研修会（身体拘束・虐待）	
1月	居宅介護・同行援護 行動援護		
2月	居宅介護・同行援護 行動援護・移動支援		
3月	居宅介護・同行援護 行動援護		
備考	・スタッフ会（毎月）・職員会・委員会・避難訓練 ・強度行動障がい支援者養成研修（隨時） ・移動支援については、コロナ拡大感染予防の為実施できませんでした。 ・常勤、兼務者との連携を図りながら隨時、依頼に対応します。		

（4）利用状況等

令和2年度サービス実績(延べ件数)		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
居宅介護	家事援助	知的	7	9	10	12	7	9	9	9	15	14	13	15 129
		精神	19	24	30	29	28	22	3	3	17	26	24	28 253
		身体	3	0	3	2	3	3	4	2	4	0	0	0 24
	身体介護		14	17	13	6	1	20	20	2	15	23	20	26 177
	通院等介助		0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1 4
	同行援護		2	2	2	5	3	5	3	2	5	3	3	7 42
	行動援護		8	10	14	14	13	12	17	17	18	15	17	18 173
	移動支援		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0 2
計		53	62	72	69	55	72	56	38	74	81	77	95	804

4. 就労支援事業所あおぞら

(1) 行動指針

- ア 利用者の尊厳を大切にし、適切な環境のもとそれぞれの能力と特性に応じた支援を行います
- イ 就労や生産活動の機会を適切かつ効果的に提供し、働く喜びや楽しみを共に分かちあいます。
- ウ 福祉的な就労の場、日中活動の場として、一人一人が地域社会で生き生きと生活できるよう支援します。
- エ 法令遵守はもとより、研修会や講習会などに積極的に参加して自己研鑽に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	利用者主体の活動	・流れ作業の中でそれが得意なところで作業できるよう仕組み作りを行い利用者だけでの作業環境が出来るようになりました。（例：鉢上げ作業～ポット土入れ、苗植え付け、置き肥等）
	物品・役務の質の向上	・平均工賃18,776円（令和元年度の県内B型事業所平均工賃16,517円）（時給換算約180円）
	就職活動	・令和2年度は就職者はいませんでした。元年度に就職された方は頑張って働かれています。
社会に対する基本姿勢	地域の美化協力、ごみ排出困難者支援	・令和3年度もふれあい収集事業の委託を受け事業継続となりました。収集地域が広くなっています。（野村町渓筋～城川町川津南） ・企業、個人宅等の除草剪定等を請け負いました。
	地域行事への参加・協力	・あさぎり湖マラソン、青い鳥マーケット等新型コロナの影響で軒並み中止となっています。 ・野村小学校交流会は新型コロナの影響で中止。幼稚園との芋植え芋ほり交流会は屋外での活動だった為、感染対策を行いながら開催することができました。
福祉人材に対する基本姿勢	専門知識の習得（作業支援）	・園内研修等で専門知識の共有を図ることが出来ました。
	支援技術の向上	・園内研修や、毎月のスタッフ会等で支援の問題点等を話し合うことで情報の共有や支援力の向上をはかることができました。

マネジメントに対する基本姿勢	経営に対する意識向上	<ul style="list-style-type: none"> 農園芸は直接買い付けに来られる方にご遠慮いただいている分産直への出荷を多くし対応しました。 外部作業は依頼数が多く、地域貢献を含む活動ができました。 配食はコロナの影響を受けることなく売り上げを維持できました。 農園芸で作った野菜を配食で積極的に使うことで新鮮な野菜を使った弁当の提供及び、支出軽減の両立がきました。
	成長支援制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> 作物や弁当の品質向上を目指すことが利用者工賃の平均月額にも反映されていると思います。
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ会の都度、虐待、モラル違反等について話し合いを行い各職員の意識向上に努めました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月	春野菜・花苗販売 果物皮剥ぎ作業（1月～6月）	成長支援～個人目標設定	
5月	ふるさとづくり栽培管理		
6月	芋植え交流会 南予福祉施設会	虐待チェックリスト	
7月	葉牡丹種まき		
8月	定期健診（利用者・職員）		
9月	ふるさとづくり栽培管理	成長支援～個人目標振り返り	
10月	幼稚園芋ほり交流 顧客満足度調査	成長支援～個人目標設定 園内研修（虐待防止、感染症対策）	
11月	玉葱苗販売 インフルエンザ予防接種 定期健診（2回目）		
12月	大掃除 寄せ植え講習会（阿下、商工会）	園内研修（強度行動障害） 虐待チェックリスト（2回目）	
1月	干し芋作り・販売 果物皮剥ぎ作業（1月～6月）		
2月	春野菜・花苗播種開始 あおぞら避難訓練	園内研修（外部講師）	
3月	あおぞら避難訓練（消防署立ち合い）		

毎月	スタッフ会 ふれあい収集（ごみ排出困難者支援：毎週火、水曜日）
その他	※ 定期的に大洲・八幡浜圏域の就労支援事業所やハローワーク、就業・生活センター、共同受注窓口等、関係機関との連絡会等に参加し情報を共有している。

5. 相談支援事業所こすもす

(1) 行動指針

ア 特定相談支援事業、障害児相談支援事業（西予市指定）

障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱えるニーズ及び地域課題の解決や適切なサービスの利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細やかな支援を行います。

イ 一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)（愛媛県指定）

長期入院、入所している方が地域生活へ移行するための支援や、常に連絡がとれる体制を確保し、緊急に支援が必要な事態が生じた際に、緊急訪問や相談などの必要な支援を行い、地域生活の継続を目指します。

ウ 西予市委託相談支援事業

相談支援を通じ、西予市障害者(児)の生活の援助を行います。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	本人の思いを重視したサービス等利用計画の作成、モニタリングの実施	<ul style="list-style-type: none">面談、聞き取りにて利用者の方のニーズをしっかりと把握することで本人が安心して生活出来る計画の作成に努めました。年間計画作成数：142件個々に応じた定期的なモニタリングを行い、サービスの起動修正、見直し、支援体制、計画の変更など問題解決に努めました。また、サービス等利用計画に位置付けた福祉サービス事業所等を訪問しサービス提供場面を確認することにも努めました。年間モニタリング作成数：492件各市町と連携を図りながら、その方に合った福祉サービスへ繋げることが出来るよう支援に努めています。
	訪問相談	<ul style="list-style-type: none">定期的な自宅訪問を行ない、現状把握に努めています。問題や依頼があれば随時訪問させて頂き支援しています。事業所の携帯電話にて24時間365日体制で受け付けています。休日や夜間なども電話相談にて対応できました。年間相談件数：1,465人
社会に対する基本姿勢	関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none">定期的に各事業所を訪問し、サビ管や担当職員と情報共有を行いました。また、地区担当保健師や医療機関とも連携を図り必要時にはカンファレンス開催し問題解決に努めました。児童発達支援事業所、特別支援学校との連携を行い、本児及び保護者の意向を汲み取りながら、定期的な学校の進路学習会にも出席し、進路やサービス利用の相談等を行いました。
	自立支援協議会、基幹相談支援センターの整備に向けた動き	<ul style="list-style-type: none">毎月市役所にて実施されている西予市相談支援定例会に出席し現状や困り事等の報告相談を行っています。自立支援協議会が開催され障がい福祉計画が作成されました。福祉計画の中に、基幹相談支援センターの体制整備について検討を進める事となりました。

	法人後見事業の運用	<ul style="list-style-type: none"> ・法人後見運営委員会実施 ・「法人後見担い手養成研修」に参加しました。 ・10月1件 法人後見開始 ・11月1件 法人後見開始
	精神保健関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜保健所から会議出席依頼があり医療機関や保健師との情報共有していく予定でしたが、コロナ禍にて会議が中止となりました。
福祉人材に対する基本姿勢	資格取得の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の精神障がい者支援の障がい特性と支援技法を学ぶ研修を修了しました。 ・上記研修を修了したことにより精神障害者支援体制加算を取得することができました。
	専門知識の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門に特化する研修に参加させて頂きました。
マネジメントに対する基本姿勢	高齢化に向けた基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者がスムーズに介護保険へ移行できるように居宅介護支援事業所と連携を図りました。1名の方が介護保険に移行しました。
	成長支援制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・成長支援制度を取り入れて個人目標を立てて取り組みました。
	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会にて法人理念、基本方針を唱和し周知を図りました。 ・虐待防止研修への参加 ・個人情報への取り扱いへの配慮に努めました。

(3) 実施事業報告

月	業務内容	研修 (O J T)	その他
4月	年間を通じて、その都度、利用者に応じた支援を行う	相談定期会議（1/週） 園内研修(防火管理)	相談支援定例会(コロナ中止)
5月		相談定期会議	相談支援定例会
6月	*計画立案、サービス担当者会議の開催	相談定期会議	相談支援定例会
7月	*状況に応じたモニタリングの実施	相談定期会議	相談支援定例会 南予相談支援専門員連絡会
8月		相談定期会議 園内研修（防災）	相談支援定例会
9月	*関係機関との連絡調整 *制度についての理解を深める研修への参加	相談定期会議	精神障がい特性と支援技法を学ぶ研修 特別支援学校進路学習会（1年） 精神障害者社会復帰連絡会 相談支援定例会 ボランティア養成事業 こころの健康を学ぶ（精神保健福祉編）

*自立支援協議会等への積極的な働きかけを行う	10月	相談定期会議 園内研修（感染症予防） (危険予知)	相談支援定例会 特別支援学校進路学習会（2年） 法人後見担い手養成研修 西予市医療的児童等支援者連絡会 ボランティア養成事業 こころの 健康を学ぶ（精神保健福祉編） 法人後見開始（2件）
	11月	相談定期会議	相談支援定例会（コロナ中止） 特別支援学校進路学習会（3年） ボランティア養成事業 こころの 健康を学ぶ（精神保健福祉編）
	12月	相談定期会議 園内研修（虐待防止） (身体拘束)	相談支援定例会（コロナ中止）
	1月	相談定期会議	相談支援定例会（コロナ中止）
	2月	相談定期会議 園内研修（オンライン研修） (認知症を発症した知的障害者 への支援について考える)	精神障害者社会復帰連絡会 地域共生シンポジウム（オンライン）
	3月	相談定期会議	相談支援定例会 第1回自立支援協議会 第2回自立支援協議会 関係機関連絡会議（オンライン）

*新型コロナウィルスの感染拡大防止にて中止になった研修会、会議もありました。

6. 指定障害者支援施設野村学園

(1) 行動指針

- ア 生きがいのある生活ができるよう利用者の意志を尊重とともに歩みます。
- イ 家族等との連絡を密にし、絆をともに深めます。
- ウ 利用者・職員の夢が叶うようともに邁進します。
- エ 地域行事に参加し地域社会をともに築きます。
- オ 決められたことを守り個人・事業所・法人の成長をともに目指します。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	プライバシー保護	より良い支援マニュアル作成のため検討中の段階である。令和3年度以降も継続して取り組んでいく予定である。
	日中活動の充実	毎日中活動予定表を作成し、計画的に活動することが出来た。新型コロナウィルスの感染拡大に伴い、施設外での歩行訓練の時間が減少しており施設敷地内での歩行を主に行っている状況である。
	個別支援の充実	カンファレンス前に全保護者からアンケートを取り個別支援の意向を聞いている。また、参加できる保護者にはカンファレンスに出席してもらっている。想いマップ等を活用し本人の意向に沿った個別外出を計画して実施している。
	生活環境・利用環境の向上	個別の空間作りに取り組みパーテーション等を利用して仕切りを作ったことで、一人のスペースが確保されている。施設が老朽化してきており、可能な限り修繕をして対応している。
社会に対する基本姿勢	ボランティア活動	毎月1回、野村学園周辺、ダム周辺の清掃ボランティアを実施している。日中活動でも、定期的に道路清掃を行い、周辺道路の清掃活動を実施している。
	地域行事への参加	例年、あさぎり湖マラソン大会は施設行事として取り組んでおり、大会に参加・応援・ミストシャワーボランティアを行っているが、2年度は新型コロナウィルス感染拡大に伴い大会自体が中止となっている。又、その他の地域行事への参加も極力取りやめている。
福祉人材に対する基本姿勢	魅力ある職場づくり	各部署でチーム目標設定を行った。又、個人目標を立て役割を明確にする事で全員が目標達成に向けて取り組むことが出来た。成長支援制度を通じて、現在の職場環境を見直す良いきっかけになった。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	諸規則・諸規程綴りは職員室に置いてあり、誰でも確認出来るようになっている。また、パソコンの共有ホルダーの中には最新のデータが入力されている。
	経営マネジメント	福祉型障害児入所施設における移行について、どうしても困難な場合は加齢児の経過措置が令和4年3月31日まで再々延長となる。野村学園児童部の障害者支援施設への移行は、関係機関とも相談し令和3年7月1日付で移行予定。

(3) 行事報告（指定障害者支援施設野村学園）

月	行 事	研修 (O J T)	その他の活動
4月	希望外出：中止 利用者内科検診 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針周知 県総会(書面決議) 南予理事会・総会(書面決議)	
5月	バス遠足・希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練 朝霧湖マラソン大会：中止 愛媛県障害者スポーツ大会：中止 南予ソフトボール大会：中止 ソフトボール大会（県予選）：中止	第1回園内研修会	広報誌発行
6月	希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練 南予バレー大会：中止	県新任職員研修会：中止 第2回園内研修会 県第1回施設長会：中止	
7月	希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練 県バレー大会：中止	全国施設長会議：中止 中国・四国地区知的障害 関係職員研究協議会：中止 四国地区施設長会議：中止 第3回園内研修会(救命講習)	
8月	希望外出・夏祭り：中止 お盆休み送迎サービス：中止 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区職員研修協議会：中止 県第1回職員研修会：中止 南予青年部夏季研修会：中止	広報誌発行
9月	希望別旅行・希望外出：中止 こまどり号歯科検診 花火大会 火災避難訓練及び消火訓練	県第2回職員研修会：中止 全国知的障害関係職員研究大会 ：中止 第4回園内研修会	
10月	希望別旅行・希望外出：中止 南予福祉まつり：中止 火災避難訓練及び消火訓練 利用者・職員健康診断	県第3回職員研修会：中止 第5回園内研修会	
11月	希望外出：中止 学園祭 マンダリンパイレーツ交流会：中止 乙亥祭外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練	障害者支援施設部会全国大会 ：中止 南予職員合同研修会：中止 第6回園内研修会 リスクマネジメント養成研修会：中止	第1回保護者会 役員会 大瀬中学校交流 (ビデオレター)
12月	希望外出：中止 インフルエンザ予防接種 火災避難訓練及び消火訓練 クリスマス会 大掃除 年末年始送迎サービス：中止	全国児童発達支援施設運営 協議会：中止 県第2回施設長会：中止 第7回園内研修会	広報誌発行
1月	初詣 希望外出：中止 もちつき大会 火災避難訓練及び消火訓練	南予青年部冬季研修会：中止 第8回園内研修会	
2月	希望外出：中止 節分豆まき 火災避難訓練及び消火訓練 職員特定健康診断	四国地区施設長会議：Web 第9回園内研修会（事例発表）	

3月	バス遠足・希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練		
毎月行事	※喫茶コーナー（月1～2回） ※職員会、各寮会 ※運営委員会、自立支援衛生推進委員会、安全防災対策・事故防止委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、日中活動委員会 エルダー委員会（年4回） 広報委員会（随時） 苦情解決虐待防止委員会（随時）		

(4) 利用者利用状況等

○施設入所利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,200	1,189	99.1%	96.1%
5	1,240	1,234	99.5%	94.4%
6	1,200	1,188	99.0%	97.5%
7	1,240	1,215	98.0%	98.2%
8	1,240	1,193	96.2%	94.8%
9	1,200	1,184	98.7%	98.2%
10	1,240	1,227	99.0%	98.8%
11	1,200	1,181	98.4%	97.9%
12	1,240	1,189	95.9%	93.3%
1	1,240	1,195	96.4%	92.3%
2	1,120	1,093	97.6%	98.2%
3	1,240	1,222	98.6%	99.2%
合計	14,600	14,310	98.0%	96.6%

○生活介護利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	880	873	99.2%	96.5%
5	920	915	99.5%	95.4%
6	880	871	99.0%	97.7%
7	920	904	98.3%	98.3%
8	920	891	96.9%	98.2%
9	880	869	98.8%	98.5%
10	920	912	99.1%	99.1%
11	880	867	98.5%	98.3%
12	920	896	97.4%	96.9%
1	920	911	99.0%	96.2%
2	800	781	97.6%	98.6%
3	920	906	98.5%	99.0%
合計	10,760	10,596	98.5%	97.7%

入所者障害支援区分別 (R3年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6
0	2	14	24

平均支援区分 5.55

男性 22名 女性 18名

平均年齢 46.8歳

7. 障害児入所施設野村学園（第二障害者支援施設野村学園）

（1）行動指針

- ア 生きがいのある生活ができるよう利用者の意志を尊重しともに歩みます。
- イ 家族等との連絡を密にし、絆をともに深めます。
- ウ 利用者・職員の夢が叶うようともに邁進します。
- エ 地域行事に参加し地域社会をともに築きます。
- オ 決められたことを守り個人・事業所・法人の成長をともに目指します。

（2）事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	プライバシー保護	より良い支援マニュアル作成のため検討中の段階である。令和3年度以降も継続して取り組んでいく予定である。
	日中活動の充実	毎月日中活動予定表を作成し、計画的に活動することが出来た。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、施設外での歩行訓練の時間が減少しており施設敷地内での歩行を主に行っている状況である。
	個別支援の充実	カンファレンス前に全保護者からアンケートを取り個別支援の意向を聞いている。また、参加できる保護者にはカンファレンスに出席してもらっている。想いマップ等を活用し本人の意向に沿った個別外出を計画して実施している。
	生活環境・利用環境の向上	個別の空間作りに取り組みパーテーション等を利用して仕切りを作ったことで、一人のスペースが確保されている。施設が老朽化してきており、可能な限り修繕をして対応している。
社会に対する基本姿勢	ボランティア活動	毎月1回、野村学園周辺やダム周辺の清掃ボランティアを実施している。日中活動でも、定期的に道路清掃を行い、周辺道路の清掃活動を実施している。
	地域行事への参加	例年、あさぎり湖マラソン大会は施設行事として取り組んでおり、大会に参加・応援・ミストシャワーボランティアを行っているが、2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い大会自体が中止となっている。又、その他の地域行事への参加も極力取りやめている。
福祉人材に対する基本姿勢	魅力ある職場づくり	各部署でチーム目標設定を行った。又、個人目標を立て役割を明確にする事で全員が目標達成に向けて取り組むことが出来た。成長支援制度を通じて、現在の職場環境を見直す良いきっかけになった。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	諸規則・諸規程綴りは職員室に置いてあり、誰でも確認出来るようになっている。また、パソコンの共有ホルダーの中には最新のデータが入力されている。
	経営マネジメント	福祉型障害児入所施設における移行について、どうしても困難な場合は加齢児の経過措置が令和4年3月31日まで再々延長となる。野村学園児童部の障害者支援施設への移行は、関係機関とも相談し令和3年7月1日付で移行予定。

(3) 行事報告（障害児入所施設野村学園・第二障害者支援施設野村学園）

月	行 事	研修 (O J T)	その他の
4月	希望外出：中止 利用者内科検診 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針周知 県総会(書面決議) 南予理事会・総会(書面決議)	
5月	バス遠足・希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練 朝霧湖マラソン大会：中止 愛媛県障害者スポーツ大会：中止 南予ソフトボール大会：中止 ソフトボール大会（県予選）：中止	第1回園内研修会	広報誌発行
6月	希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練 南予バレー大会：中止	県新任職員研修会：中止 第2回園内研修会 県第1回施設長会：中止	
7月	希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練 県バレー大会：中止	全国施設長会議：中止 中国・四国地区知的障害 関係職員研究協議会：中止 四国地区施設長会議：中止 第3回園内研修会(救命講習)	
8月	希望外出・夏祭り：中止 お盆休み送迎サービス：中止 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区職員研修協議会：中止 県第1回職員研修会：中止 南予青年部夏季研修会：中止	広報誌発行
9月	希望別旅行・希望外出：中止 こまどり号歯科検診 花火大会 火災避難訓練及び消火訓練	県第2回職員研修会：中止 全国知的障害職員大会：中止 第4回園内研修会	
10月	希望別旅行・希望外出：中止 南予福祉まつり：中止 火災避難訓練及び消火訓練 利用者・職員健康診断	県第3回職員研修会：中止 第5回園内研修会	
11月	希望外出：中止 学園祭 マンダリンパイレーツ交流会：中止 乙亥祭外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練	障害者支援施設部会全国大会 ：中止 南予職員合同研修会：中止 第6回園内研修会 リスクマネジャー養成研修会：中止	第1回保護者会 役員会 大瀬中学校交流 (ビデオレター)
12月	希望外出：中止 インフルエンザ予防接種 火災避難訓練及び消火訓練 クリスマス会 大掃除 年末年始送迎サービス：中止	全国児童発達支援施設運営 協議会：中止 県第2回施設長会：中止 第7回園内研修会	広報誌発行
1月	初詣 希望外出：中止 もちつき大会 火災避難訓練及び消火訓練	南予青年部冬季研修会：中止 第8回園内研修会	
2月	希望外出：中止 節分豆まき 火災避難訓練及び消火訓練 職員特定健康診断	四国地区施設長会議：Web 第9回園内研修会（事例発表）	

3月	バス遠足・希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練		
毎月行事	※喫茶コーナー（月1～2回） ※職員会、各寮会 ※運営委員会、自立支援衛生推進委員会、安全防災対策・事故防止委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、日中活動委員会 エルダー委員会（年4回）広報委員会（随時）苦情解決虐待防止委員会（随時）		

(4) 施設入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	780	780	100.0%	99.1%
5	806	805	99.9%	97.0%
6	780	762	97.7%	99.5%
7	806	773	95.9%	99.3%
8	806	756	93.8%	94.0%
9	780	779	99.9%	98.3%
10	806	802	99.5%	98.6%
11	780	773	99.1%	98.5%
12	837	819	97.9%	97.0%
1	837	804	96.0%	93.8%
2	756	756	100.0%	99.9%
3	837	836	99.9%	99.6%
合計	9,611	9,445	98.3%	97.9%

(5) 生活介護利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	572	572	100.0%	99.2%
5	598	597	99.8%	96.8%
6	572	559	97.7%	99.3%
7	598	573	95.8%	98.9%
8	598	568	95.0%	97.1%
9	572	570	99.7%	98.5%
10	598	592	99.0%	97.9%
11	572	564	98.6%	98.5%
12	621	595	95.8%	100.0%
1	621	608	97.9%	97.4%
2	540	539	99.8%	99.5%
3	621	619	99.7%	99.5%
合計	7,083	6,956	98.2%	98.5%

入所者障害支援区分別 (R 3年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6
0	2	6	19

平均支援区分 5.62

男性 20名 女性 7名

平均年齢 34.4歳

(6) 障害児入所施設利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	420	420	100.0%	100.0%
5	434	434	100.0%	98.7%
6	420	420	100.0%	98.7%
7	434	434	100.0%	100.0%
8	434	432	99.6%	99.5%
9	420	418	99.5%	99.5%
10	434	432	99.6%	99.8%
11	420	420	100.0%	100.0%
12	434	409	94.2%	99.0%
1	403	403	100.0%	92.4%
2	364	364	100.0%	100.0%
3	403	373	92.6%	100.0%
合計	5,020	4,959	98.8%	98.9%

男性 11名 女性 2名

平均年齢 13.5歳

8. 放課後児童健全育成事業所のむらキッズ・しろかわキッズ

(1) 行動指針

- ①児童の健全な育成を図るための支援ができるよう、児童の気持ちを理解とともに歩みます。
- ②家族等との連絡を密にし、絆をともに深めます。
- ③児童・職員の夢が叶うようともに邁進します。
- ④地域行事に参加し地域社会をともに築きます。
- ⑤決められたことを守り個人・事業所・法人の成長をともに目指します。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	職務遂行に必要な知識・技術の習得、資質向上	放課後児童支援員資質向上研修に参加したり、救命講習、感染症対策研修等を行い、衛生的な環境の中で子どもたちの命を守り、適切な支援が出来るよう職員の資質向上を図った。
	活動内容の充実	例年行われているレインボーフェスタは中止されたが、夏休みには川遊びと、夏祭りを実施した。川遊びについては、一日の日程を半日に短縮したが、子どもたちは十分に満足していた。
	保護者との信頼関係の構築	毎月キッズ便りを発行し、キッズの情報を保護者に伝えると共に、毎日、連絡帳を通じて情報交換を行った。 支援員から保護者へ子ども達の様子を伝達する際に、不適切な表現があり、保護者に不安を与える事例があった。
	安全な環境の提供	空気清浄機や、電解水生成装置、非接触型体温計などを購入し、安全で衛生的な環境を確保し、子どもたちが安定した生活が送れるよう配慮した。 創造性に富む玩具等を準備し、各自が興味を持った遊びに集中できるよう環境を整えた。
社会に対する基本姿勢	放課後児童健全育成事業の理解と周知を図る	定期的にホームページの更新を行い、放課後児童健全育成事業所の周知を図った。
	市や関係他機関との連携を図る	小学校との情報交換会の実施は1回にとどまったが、個人の児童のことでの、学校の担任及び生徒指導の教師に相談に乗って頂いた。 西予市子ども子育て会議、西予市放課後子ども総合プラン運営委員会に参加し、他機関との情報交換を行った。
福祉人材に対する基本姿勢	児童福祉施設最低基準38条に基づく有資格者の確保	有資格者の職員を確保することは出来なかった。
	児童支援員の確保	のむらキッズの職員2名が、放課後児童支援員認定資格を取得できた。
マネジメントに対する基本姿勢	協会理念の周知徹底	職員会等を通じて、理念、基本姿勢の周知を行った。 また、支援員に保護者への対応について、個人的に話をし、理解してもらえるよう指導を行った。

(3) 行事報告 (放課後児童健全育成事業所のむらキッズ)

月	行 事	研修 (O J T)	その他の
4月			
5月			西予市子ども子育て会議
6月			
7月	夏祭り		放課後子ども総合プラン運営委員会
8月	川遊び		
9月		救命救急講習	
10月			野村小学校との情報交換会
11月		放課後児童支援員認定研修 放課後児童支援員資質向上研修 感染症対策研修	
12月	クリスマス会 大掃除	放課後児童支援員認定研修	
1月			
2月			新入学児募集説明会
3月			
毎月	誕生会・避難訓練	職員会	キッズ便り発行

(4) 行事報告 (放課後児童健全育成事業所しろかわキッズ)

月	行 事	研修 (O J T)	その他の
4月			
5月			西予市子ども子育て会議
6月			
7月	夏祭り		保護者会による草刈り実施 城川小学校との情報交換会 放課後子ども総合プラン運営委員会
8月	川遊び		保護者会による草刈り実施
9月		救命救急講習	保護者会による草刈り実施
10月			
11月		放課後児童支援員資質向上研修 感染症対策研修	
12月	クリスマス会 大掃除		
1月			
2月			新入学児募集説明会
3月			
毎月	誕生会・避難訓練	職員会	キッズ便り発行

(5) 利用者状況等

のむらキッズ

1、利用学童数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
元年度	854	723	748	855	672	721	814	740	796	668	689	403
2年度	612	538	888	835	714	776	878	720	771	694	694	822
											合計	
											元年度	8,683
											2年度	8,942

2、登録児童数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
元年度	男児	9	4	4	3	2	0	22
	女児	11	12	4	2	3	1	33
	合計	20	16	8	5	5	1	55
2年度	男児	8	9	4	1	0	2	24
	女児	9	10	11	4	0	2	36
	合計	17	19	15	5	0	4	60

しろかわキッズ

1、利用学童数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
元年度	239	266	280	304	232	220	293	272	268	217	223	83
2年度	226	166	279	263	238	201	250	219	227	183	168	197
											合計	
											元年度	2,897
											2年度	2,617

2、登録児童数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
元年度	男児	0	4	2	1	1	0	8
	女児	2	5	3	2	2	0	14
	合計	2	9	5	3	3	0	22
2年度	男児	5	0	3	1	0	0	9
	女児	1	0	5	1	2	0	9
	合計	6	0	8	2	2	0	18

XII 事業所別事業報告

【高齢者福祉部会】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大という大きな渦の中にあり、高齢者福祉部会においても、常に感染防止の対応対策に追われた1年となりました。

市内で初めて感染者が確認された4月には、感染対策の強化に加え、短期入所生活介護と通所介護の両事業所は、一時期営業を停止いたしました。

その後も感染の波状的な拡大が続いており、感染リスクの高い高齢者を抱える事業所として、施設サービスにおいては、施設内および対外的な行事の縮小や中止、家族との面会制限を行い、居宅系サービスにおいては、利用に際しての基準を定め、事前の聞き取りを強化しました。職員には、日々の体調および行動管理、家族を含めての感染回避行動の徹底、研修会のオンライン化など様々な規制を強い形となり、施設を取り巻く私たちの生活様式は大きく変わりました。慌ただしい中であって、感染者を1人も出す事がなかった事は、全職員の努力の成果だと感じております。

また、令和2年度の大きな取組みとして、介護技能実習生の受入れがありました。一昨年度より受入れに向けた準備を進めて参りましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で遅れ、令和3年1月21日に入職の運びとなりました。介護技能実習生の方々は、何事においても学ぼうと言う姿勢が強く日々研鑽に努めております。熱心に仕事に向かうその姿は、他の職員への大きな刺激になっております。

受入施設では、現場での技能教育と、地域生活における生活指導、更に日本語のスキルアップ教育などの進め方を、日々模索しながら行っております。今後とも、技能実習生の成長を支えて行きながら教育システムを構築し、継続的な受入れに向けた基盤作りに、努めて行きたいと考えております。

1. 特別養護老人ホーム法正園

(1) 行動指針

「あなたの笑顔が私の笑顔です」

①人権の尊重

わたしたちは、利用者一人ひとりの尊厳を大切にし、安心できる生活環境を創出します。

②人材育成

わたしたちは、常に知識とスキルの向上を目指し、感謝の気持ちと笑顔を絶やすことなく自らを成長させることのできる職場作りに努めます。

③地域への貢献

わたしたちは、社会事業を通して、地域の人々が安心して住み続けられる社会づくりに貢献します

(2) 事業報告

区分	取組み(詳細)	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none">人権擁護研修の実施と、虐待チェックリストを活用した研修を行いました。身体拘束廃止と虐待防止については、毎月委員会で検討しましたが、特に問題はありませんでした。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none">愛媛県の指導監査および第三者評価を受け、指摘事項等について改善しました。入居者及び家族に対してサービス満足度調査を実施しました。概ね満足していただきました。毎月請求書等送付する文書に、各担当が手書きで近況をお伝えする取り組みを行い、家族との信頼関係の構築に努めています。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none">地域の方々やボランティアグループを対象にした、介護に関する講習会や夕涼み会を計画していましたが、コロナ禍で実施できませんでした。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none">多様化する入居者に対応するためチア一浴のできる機器を愛媛県の補助を活用して増設しました。車椅子は、フルリクライニング車椅子等2台購入しました。入居者の状態に合わせるために超低床ベッドを1台購入しました。コロナ感染症対策支援金を活用し、軽車輪、加湿空気清浄機、自動アルコール噴霧器等を購入しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none">なごみホールの地域開放として、西予市社会福祉協議会の規制緩和通所事業に週3日、感染対策期間以外貸し出しました。ボランティアは、西予市社会福祉協議会と協力して「西予市生き活きシニアポイントモデル事業」参加者を、感染対策期間以外定期で1グループ受け入れました。保育所等との交流会を計画しましたが中止しました。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none">広報誌は3回発行しました。ホームページのブログについては、随時更新しました。第三者評価の結果を愛媛県ホームページにて公表しました。
人材のマネジメント	人材のマネジメント	<ul style="list-style-type: none">理念の周知徹底のため朝礼や職員会、委員会での一斉唱和を実施しています。
	人材確保	<ul style="list-style-type: none">外国人技能実習生として、ミャンマーから2名受入れをしました。夏休みチャレンジボランティアの受入れは、入所者様との接触を避ける形で受入れを行いました。法人で野村高校出前講座を行い職員2名参加しました。

福祉人材に対する基本姿勢	人材の定着	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染症支援金で各ユニットにタブレット端末を購入。朝礼をリモートで行ったり行事等をリモートで中継することで業務の効率化や感染対策を図りました。 愛媛県介護ロボット導入支援事業費補助金を活用しリフト浴機器を導入することで、介護職員の負担を軽減することが出来ました。 健康診断とストレスチェックを実施しました。 職員互助会は、全ての予定が中止となりました。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士資格取得に向け職員に情報提供を行いました。職員2名が介護福祉士を取得しました。 ノーリフティングの研修に職員2名参加しました。 成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。 介護技術向上研修に2名参加し、施設内で介護教室（介護マイスター）を行いました。 ユニットリーダー研修、喀痰吸引研修、認知症介護実践者研修を受講予定でしたが、コロナ禍で中止しました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> 就業規則を掲示し、変更点等については職員会で説明を行いました。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> 適正収益の確保のため、空床期間の短縮、短期入所の空床利用の促進、要介護度の適正化に取り組みました。 各種補助を活用し、軽車輪や介護機器、空気清浄機、感染予防物品の購入に努めました。 口腔ケア加算を継続して取っていましたが、感染対策期間は歯科医が施設に来ることができず中断しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT等)	その 他
4月		新任職員研修 成長支援目標設定研修	
5月	家族ふれあいデー(中止) 家族会総会(中止) 健康診断(延期) 西予老施協合同遠足(中止)	ユニットケア研修 看取り研修	広報誌発行第246号 非常連訓練
6月	保育所交流会(中止) なごみホール介護教室(中止)	感染症(コロナ等)研修 虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修	チル式車椅子購入 消防設備点検 屋内外指定ヶ所での面会開始
7月		看取りケア研修 喀痰吸引実地研修 法人ネクストリーダー研修	
8月	夏まつり(園内のみ) 夜勤者健康診断	救命救急講習 ユニットケア施設視察 ケアマネ更新研修	厨房エアコン増設 社協チャレンジボランティア受入
9月	秋の法要(人数制限) 第三者評価受診	技能実習生受入研修 技能実習指導員養成 講座受講	スマートコンペクションオーブン買替 タブレット(ipad)購入 倉庫2ヶ所改修工事
10月	敬老会(人数制限) 西予老施協演芸大会(中止)	感染症対策研修 ノーリフティングケア研修	顧客満足度調査 協会奉仕作業 軽車輪(NBOX)購入 西町リフト浴機器購入

11月	入居者・職員健康診断 職員ストレスチェック 県実地指導監査 夜間避難訓練 なごみホール介護教室(中止)	認知症ケア研修 成長支援評価者研修 コロナ感染症対策研修	広報誌発行第247号 リモート朝礼開始 野村高校出前講座
12月	クリスマス会(各ユニット) 入居者忘年会(各ユニット) シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練 大掃除(ボラ参加)	虐待防止対策研修 事故発生防止研修 感染症ガウンテクニック研修	南予企業発信イベント参加 超低床介護ベッド購入 リクライニング車椅子購入 西予消防署立入検査 消防設備点検
1月	お年とり 初詣外出	褥瘡対策研修 ポジショニング研修 成長支援研修 コロナ感染症対策研修	技能実習生2名入職 コロナ感染施設職員派遣1名 介護福祉士受験
2月	節分行事 コロナ感染症対策で面会禁止	今年度運営状況発表 成長支援研修	広報誌発行第248号
3月	春の法要(人数制限・中継) 避難・消火訓練 コロナ感染症対策で面会禁止	成長支援制度 チーム目標設定検討 成長支援研修	
毎月	職員会、運営委員会、リーダー会、各ユニット会、個別ケア推進委員会 食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会、編集委員会 セイフティー委員会(褥瘡対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、サービス、業務改革)、内部研修会 介護マイスター、介護技術伝達講習会、あかし歯科検診		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、入所検討委員会(4、7、10、1月) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア)、OJT委員会 セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進) 合同職員会(2ヶ月毎)、内科回診(火・水)、歯科検診(毎月1回)		
随時	各ユニット食事会(誕生会)、行事食、地域行事外出、里帰り、交流会(中止) 感染対策委員会、避難訓練、各法人委員会、法人研修会		
毎日	口腔体操、機能訓練		

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,500	100.0%	98.1%
5	1,550	1,529	98.6%	97.6%
6	1,500	1,472	98.1%	99.9%
7	1,550	1,533	98.9%	95.5%
8	1,550	1,483	95.7%	96.3%
9	1,500	1,424	94.9%	97.0%
10	1,550	1,509	97.4%	98.2%
11	1,500	1,444	96.3%	98.0%
12	1,550	1,523	98.3%	97.2%
1	1,550	1,490	96.1%	94.5%
2	1,400	1,357	96.9%	94.2%
3	1,550	1,547	99.8%	98.1%
合計	18,250	17,811	97.6%	97.0%

利用者要介護度別

(R 3年3月末現在)

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
0	1	4	20	25

平均介護度 4.38

男性 13名 女性 37名

平均年齢 88.3歳

2. 短期入所生活介護事業所法正園

(1) 行動指針

在宅要介護高齢者の利用ニーズに応えるため、利用者主体のサービスを念頭に居宅介護支援事業者や家族との緊密な連携に努めます。また、サービスを提供することにより、家族の身体的精神的負担の軽減を図るとともに利用者の社会的孤立感を解消し、生活の助長を図ることを目的とします。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護研修の実施と、虐待チェックリストを活用した研修を行いました。 身体拘束廃止と虐待防止については、毎月委員会で検討しましたが、特に問題はありませんでした。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛県の指導監査(特養)および第三者評価を受け、指摘事項等について改善しました。 利用者及び家族に対してサービス満足度調査を実施しました。概ね満足していただけていました。 利用者の自宅居室に近いレイアウトや生活の流れに合わせて対応し、居心地よく過ごして頂きました。 利用開始時には、迎え時に検温を実施しました。
	家族との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> 利用される前日には電話連絡し、健康状態や家族の行動等把握し感染対策を行いました。 送迎時間等確認し、家族に合わせ柔軟に対応しました。 家族や居宅ケアマネと連携を密にし、できるだけ家庭と同じ対応を行った。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の家族等を対象にした、介護に関する講習会を計画していましたが、コロナ禍で実施できませんでした。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> 利用される居室を自宅居室に近いレイアウトにするために畳や低床ベッド、ポータブルトイレ等準備し、改修した中町倉庫で保管することで、スムーズに環境作りができるようになりました。 コロナ感染症対策支援金を活用し、安全性の高い送迎用軽車輪、加湿空気清浄機、自動アルコール噴霧器等を購入しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等との交流会を計画しましたが中止しました。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌は3回発行しました。 ホームページのブログについては、随時更新しました。 第三者評価の結果を愛媛県ホームページにて公表しました。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 理念の周知徹底のため職員会や委員会での一斉唱和を実施しています。
	人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> 外国人技能実習生として、ミャンマーから2名受入れをしました。 夏休みチャレンジボランティアの受入れは、入所者様との接触を避ける形で受入れを行いました。 法人で野村高校出前講座を行い職員2名参加しました。
	人材の定着	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染症支援金でタブレット端末を購入し、利用者の荷物チェックやりモード朝礼で活用。業務の効率化を図りました。 愛媛県介護ロボット導入支援事業費補助金を活用しリフト浴機器を導入することで、介護職員の負担を軽減することが出来ました。 健康診断とストレスチェックを実施しました。

	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士資格取得に向け職員に情報提供を行いました。 職員2名が介護福祉士を取得しました。 成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。 介護技術向上研修に2名参加し、施設内で介護教室（介護マイスター）を行いました。 ユニットリーダー研修、喀痰吸引研修、認知症介護実践者研修を受講予定でしたが、コロナ禍で中止しました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> 就業規則を掲示し、変更点等については職員会で説明を行いました。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率の向上に向けて、利用調整や空床利用等実施しましたが、コロナ感染症の影響もあり昨年より稼働率が下がりました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT等)	そ の 他
4月		新任職員研修 成長支援目標設定研修	
5月	家族ふれあいデー(中止) 家族会総会(中止) 健康診断(延期) 西予老施協合同遠足(中止)	ユニットケア研修 看取り研修	広報誌発行第246号 非常連訓練
6月	保育所交流会(中止) なごみホール介護教室(中止)	感染症(コロナ等)研修 虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修	チルト式車椅子購入 消防設備点検 屋内外指定ヶ所での面会開始
7月		看取りケア研修 喀痰吸引実地研修 法人初ストリーダー研修	
8月	夏まつり(園内のみ) 夜勤者健康診断	救命救急講習 ユニットケア施設視察 ケアマネ更新研修	厨房エアコン増設 社協チャレンジボランティア受入
9月	秋の法要(人数制限) 第三者評価受診	技能実習生受入研修 技能実習指導員養成 講座受講	スマートコンペクションオーブン買替 タブレット(ipad)購入 倉庫2ヶ所改修工事
10月	敬老会(人数制限) 西予老施協演芸大会(中止)	感染症対策研修 ノーリティングケア研修	顧客満足度調査 協会奉仕作業 軽車輛(NBOX)購入 西町リフト浴機器購入
11月	入居者・職員健康診断 職員ストレスチェック 県実地指導監査 夜間避難訓練 なごみホール介護教室(中止)	認知症ケア研修 成長支援評価者研修 コロナ感染症対策研修	広報誌発行第247号 リモート朝礼開始 野村高校出前講座
12月	クリスマス会(各ユニット) 入居者忘年会(各ユニット) シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練 大掃除(ボラ参加)	虐待防止対策研修 事故発生防止研修 感染症ガウンテクニック研修	南予企業発信イベント参加 超低床介護ベッド購入 リクライニング車椅子購入 西予消防署立入検査 消防設備点検

1月	お年とり 初詣外出	褥瘡対策研修 ポジショニング研修 成長支援研修 コロナ感染症対策研修	技能実習生2名入職 コロナ感染施設職員派遣1名 介護福祉士受験
2月	節分行事 コロナ感染症対策で面会禁止	今年度運営状況発表 成長支援研修	広報誌発行第248号
3月	春の法要(人数制限・中継) 避難・消火訓練 コロナ感染症対策で面会禁止	成長支援制度 チーム目標設定検討 成長支援研修	
毎月	職員会、運営委員会、リーダー会、各ユニット会、個別ケア推進委員会 食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会、編集委員会 セイフティー委員会(褥瘡対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、サビス、業務改革)、内部研修会 介護保険事業所連絡会、介護マイスター、介護技術伝達講習会、あかし歯科検診		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、入所検討委員会(4、7、10、1月) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア)、OJT委員会 セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進) 合同職員会(2ヶ月毎)、内科回診(火・水)、歯科検診(毎月1回)		
随時	各ユニット食事会(誕生会)、行事食、地域行事外出、里帰り、交流会(中止) 感染対策委員会、避難訓練、各法人委員会、法人研修会		
毎日	口腔体操、機能訓練		

(4) 利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者人数	稼働率	前年度稼働率
4	120	67	55.8%	102.5%
5	124	87	70.2%	89.5%
6	120	108	90.0%	89.2%
7	124	110	88.7%	97.6%
8	124	124	100.0%	79.8%
9	120	123	102.5%	84.2%
10	124	118	95.2%	91.9%
11	120	87	72.5%	87.5%
12	124	109	87.9%	87.9%
1	124	109	87.9%	112.0%
2	112	104	92.9%	81.9%
3	124	114	91.9%	94.4%
合計	1,460	1,342	86.3%	91.6%

利用定員 4名
平均介護度 2.6

3. デイサービスセンターふれあい事業報告

(1) 行動指針

「一期一会の縁を大切にします」

- ア 私たちは、利用者様の満足度向上に努力します。
- イ 私たちは、日々の仕事を通じて、人生を豊かにします。
- ウ 私たちは、一人ひとりの力を組織の力に結集させます。
- エ 私たちは、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します。
- オ 私たちは、地域の社会資源として、生きがいを提供します。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を受信し、評価に基づき改善しました。 ・顧客満足度調査を実施し意向の確認を行いました。 ・利用者さんからの意見を参考にしひーズに合った個別のサービスを提供しました。 ・外部研修受講はコロナ感染症の為参加できませんでした。
	地域との関係向上	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症の関係で、地域とのあらゆる交流および外部からのボランティアの受け入れも中止しました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎用軽車輛1台を法正園より移管し、古い軽車輛と入替ました。 ・ポスターや重要事項説明など利用者さんが座って見やすいように冊子を作成し対応しました。 ・職員の顔写真も掲示板に貼る事で職員の顔と名前が分かりやすく掲示しました。
社会に対する姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・お試し利用や介護相談を受けました。 ・法正園や本部と連携し福祉避難所の受入れ整備を行いました。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回の広報誌を発行し、利用中の様子等をご家族へ紹介することができました。 ・第三者評価の結果を愛媛県ホームページにて公表しました。
福人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会時に理念を唱和し理念の徹底を図りました。 ・マニュアルの見直しや業務の整備を行なうことができました。
	人材の定着に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・エルダー制を導入し新人育成に取り組む事ができました。 ・介護技術の講習にも参加し介護技術の向上を図ることができました。 ・資格取得の支援を行い介護福祉士1名取得し、経験年数10年以上介護福祉士25%以上の確保ができました。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。 ・外部研修については、コロナ感染症のため参加できませんでした。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則を掲示し、変更点等については職員会で説明を行いました。 ・稼働率80%を目標にしていましたが、コロナ感染症の影響で達成できませんでした。 (66.5%) ・利用者さんに対する尊厳を守り声掛けに注意する事で苦情はありませんでした。

(3) 実施事業

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	お花見外出(中止)	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 介護技術研修	
5月	こいのぼり見学 (中止)	介護技術研修	健康診断(延期) デイ広報誌発行
6月		介護技術研修 感染症対策研修 虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修	
7月	七夕飾り		
8月		救命救急講習	第三者評価受診
9月			奉仕活動 デイ広報誌発行
10月	秋祭り(中止)	認知症研修	
11月	紅葉狩り (中止) 乙亥祭り (中止) 亥の子		職員健康診断
12月	クリスマス会 干し柿作り	虐待防止対策研修 事故発生防止研修 感染症ガウテクニック研修	避難訓練
1月	鍋料理 初詣外出 (中止)		デイ広報誌発行
2月	節分行事	今年度運営状況発表	
3月	ひな祭り		デイ広報誌発行 避難訓練
毎月	運営委員会・職員会・誕生会		
随時	担当者会議 (カンファレンス) ・法人委員会		
毎日	ラジオ体操・ADL体操・認知症予防体操・口腔体操		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	435	307	70.6%	77.5%
5	725	473	65.2%	75.7%
6	754	498	66.0%	84.6%
7	783	542	69.2%	83.5%
8	754	471	62.5%	71.1%
9	725	501	69.1%	83.2%
10	754	518	68.7%	73.7%
11	754	506	67.1%	72.3%
12	783	510	65.1%	70.1%

1	696	389	55. 9%	69. 9%
2	696	464	66. 7%	71. 7%
3	783	571	72. 9%	70. 9%
合計	8, 642	5, 750	66. 5%	75. 3%

利用定員 29名

1日平均利用 19. 2人

営業日 日曜日から金曜日の週 6 日(元日、1月2日は除く)

介護度状況（令和3年3月末現在）					総合事業含む	
介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	要支援 1	要支援 2
20	17	10	5	5	8	14

平均介護度 1. 7

男性 25名 女性 54名

平均年齢 88歳

4. 居宅介護支援事業所ふれあい事業報告

(1) 行動指針

- ①利用者の心身の状況、生活歴、環境等の把握を充分に考慮し、自立した日常生活が送れるよう個別ケアを行います。
- ②利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って支援します。
- ③行政、地域包括支援センター、介護保険施設等との連携に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・外部、内部の権利擁護・倫理研修会等に参加しました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケアを意識した関わりやケアプラン作成、また自立支援プラン作成を実施しました。 ・事業所内で見直しや、意見交換を実施しています。 ・緊急時の対応の見直し等行っています。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・独居や高齢世帯、障がい者世帯等、必要なケースにおいて、民生委員、障害者事業所等と連携を取り地域との関わりを大切にした支援を実施し情報共有を行いました。 ・ガイドブックを参考に、社会資源の把握や活用にも努めました。
	利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問車およびパソコン買換えについては、問題なく使用できているため買換えませんでした。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム構築のため、介護医療との連携、地域との連携を実施しました。 ・多職種、専門職との連携を図りチームでの支援を実施しました。 ・コロナ禍であるためWeb等を利用して研修会や、勉強会事例検討会を実施しました。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者等が適切な介護サービスを選択出来るよう、介護サービス情報公表報告システムで、情報を公表しています。
福祉人材に対する基本姿勢	人材マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の周知徹底を実施しています。
	人材の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・相談や情報共有情報交換を行い、困難事例等1人で抱えずストレスに繋がらないよう留意しています。 ・意見等出し合い業務改善の見直しを行い、業務の負担軽減に努めています。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・成長支援制度、各種研修会、地域リーダー研修等へ参加し質の向上やステップアップを実施しています。 ・主任介護支援専門員取得研修に1名、来年度参加予定です。 ・介護支援専門員実務研修の見学実習を受け入れました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の周知・実施。介護保険制度の周知等行い、法令を遵守し適正なケアマネジメント、運営を行っています。 ・3月には保険者によるケアプランチェックがありました。

毎月の業務

介護保険事業所連絡会	提供票交換会・各事業所情報交換
西予市介護支援専門員連絡会	勉強会、情報交換（偶数月）
主任ケアマネ連絡会	勉強会、情報交換（奇数月）
国保事務請求	給付管理・介護給付費請求事務
自宅訪問	本人の様子観察・家族本人の要望等の把握 (最低月1回)
利用票・提供票の作成	次月の利用票・提供票の作成
利用票の配布	利用者・家族に利用票の配布・捺印を頂く
提供票の配布	各事業所に提供票の配布
モニタリング	各利用者のモニタリング（月1回）
介護支援経過の記録	各利用者の支援記録
病院との連携	野村病院週1回（木）カンファレンス出席 その他の病院は、随時訪問 入院時等、医療介護連携シートの提出
事業所内の伝達等会議の開催	週1回開催
各種勉強会、研修会への出席	ケアマネ研修、居宅介護支援に関する研修他

(3) 利用者利用状況等

月	介護保険				介護予防			
	男	女	計	居宅介護支援費	男	女	計	介護予防委託料
4	25	44	69	1,001,370	5	9	14	60,340
5	22	51	73	1,053,650	6	9	15	67,650
6	24	48	72	1,054,240	7	10	17	76,270
7	24	49	73	1,058,650	7	8	15	64,650
8	26	50	76	1,103,200	8	8	16	71,960
9	24	55	79	1,153,390	8	9	17	76,270
10	26	56	82	1,195,420	4	11	15	64,650
11	28	48	76	1,099,360	5	11	16	68,960
12	24	49	73	1,062,810	3	9	12	51,720
1	20	50	70	1,021,100	3	9	12	51,720
2	25	48	73	1,088,450	4	6	10	43,100
3	20	51	71	1,048,990	4	5	9	50,410
総計	288	599	887	12,940,630	64	104	168	747,700

居宅介護支援利用者介護度別

(R3年3月末現在)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	5	26	23	13	7	2

*要支援1は、総合事業事業対象者も含む。

5. 惣川高齢者生活福祉センター事業報告

(1) 行動指針

「一期一会の縁を大切にします」

①働くことの意義

私たちは、日々の仕事を通じて、人生を豊にします

②社会への貢献

私たちは、地域とともに、地域のために行動します

③法令・社会規範の遵守

私たちは、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します

④働きやすい職場風土

私たちは、共に働く仲間を尊重し、明るい職場を創ります

⑤顧客起点

私たちは、利用者様の立場で考え方意をもって行動します

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため例年のように研修に参加することができませんでした。 虐待チェックリストを活用し、研修内容の文書等を職員間で回覧し周知を図りました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> リハビリや機能訓練による自立生活の維持を図りました。 入居者及び家族に対してサービス満足度調査を実施しました。コロナ禍での実施で、制限されていることも多々ある中、満足しているとの意見を多くいただきました。
	地域との関係の向上	コロナ禍のため、全面中止しました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子用、体重計を1台購入しました。 非接触型検温器、除菌手指消毒器、飛沫防止パーテーション、空気清浄機、加湿器設置しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 西予市からの依頼で防災倉庫を設置しました。 ボランティアは、コロナ禍のため受け入れ中止しました。 コロナが落ち着いた時期に惣川小学校（2回）、惣川幼稚園（1回）との交流会を行いました。
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> コロナウィルス等情報を得た時点で文書を作成、利用者、家族に配布し周知に努めました。 職員間で情報共有に努めました。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 理念の周知徹底のため朝礼や職員会、委員会での一斉唱和を実施しています。
	人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で情報の提供や交流の場であった惣川民生委員会議に参加することが出来ませんでした。 地域住民への継続した声掛け等の対応により人材の確保に取り組みました。
	人材の定着	<ul style="list-style-type: none"> 新任職員の育成を通じて指導する職員の成長も促しました。 コロナ禍で外部研修への参加は困難でしたが、内部研修に取り組み、知識、技能、接遇の向上にも努めました。

	人材の育成	・成長支援制度の理解を深めるために研修（リモート）を行いました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・就業規則を掲示し、変更点等については朝礼等で説明を行いました。
	健全な財務規律の確立	・地域の情報収集やケアマネとの連絡を密にして利用増を図りました。 ・全職員がコスト意識を持ちコストダウンに努めました。

(3) 行事報告

月	行 事	研 修	そ の 他
4月	誕生会 レクリエーション外出 (中止)	各事業所 目標発表 成長支援制度の目標発表等	舟戸分館花見(中止)
5月	誕生会 レクリエーション外出 (中止)		
6月	誕生会 遠足(中止)	感染症対策（コロナ）研修 身体拘束廃止・虐待防止研修	
7月	七夕飾り 誕生会		
8月	誕生会 避難訓練	救命救急講習 新型コロナ感染症等の対策	
9月	誕生会		
10月	秋の遠足(中止) 地方祭見学(中止)	感染症対策（ノロウィルス・インフルエンザ）研修	奉仕作業 (カーブミラー掃除)
11月	紅葉見学(ドライブ) 乙亥相撲観戦(中止)		
12月	クリスマス会 誕生会 小学校交流会 幼稚園交流会 買い物外出 避難訓練		
1月	初詣（希望者なし中止） 誕生会		
2月	節分、豆まき	成長支援制度の成果発表	
3月	誕生会 小学校交流会 非常災害避難訓練		
毎月	誕生会、惣川職員会		
毎日	棒体操、リハビリ体操、口腔体操		

①通所介護事業

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	195	127	65.1%	69.9%
5	300	172	57.3%	66.4%
6	330	213	64.5%	62.8%
7	345	236	68.4%	58.7%
8	300	183	61.0%	56.9%
9	330	194	58.8%	54.8%
10	330	191	57.9%	68.7%
11	315	207	65.7%	67.0%
12	300	203	67.7%	66.0%
1	270	170	63.0%	59.3%
2	285	184	64.6%	61.0%
3	345	221	64.1%	61.8%
合計	3,645	2,301	63.1%	62.8%

利用定員 15名

1日平均利用 9.5人

営業日 月曜日から金曜日の週5日(8月14日、15日と12月29日～1月3日休業)

4/20～5/1(10日間)コロナ禍、1/8、11日、2/18日積雪のため休業を除く)

介護度状況(令和3年3月末現在)

総合事業含む

介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2
5	3	0	1	0	3	8

男性 11名 女性 32名

平均介護度 2

6. 特別養護老人ホーム しいのき園

(1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ①安心安寧な生活の提供と維持に努めます。
- ②基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④社会資源として地域に貢献します。
- ⑤常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none">・ハッピープランの実現に向けた取組みを計画していましたが、感染症対策により生活全般に制約が掛かり、プランの実現が難しい状況が続きました。・介護、看護、相談員、施設ケアマネが連携し、個別ケアの充実を図りました。・毎月開催している、身体拘束対策適正化委員会においては、検証及び拘束解除へ向けての取組みを行い、虐待対策委員会においては、「虐待防止チェックリスト」を実施し、グレーディングの洗い出しと虐待ゼロに努めました。
利用者・家族に対する基本姿勢	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none">・8月に福祉サービス第三者評価を受審し、11月に評価結果の報告会が行われました。評価結果を基に、出来るところから改善への取組みを行っています。・11月にお客様満足度アンケートを実施し、入所者や家族の意向の確認と課題の解決に努めましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応により、面会も思うように出来ない状況となり、入所者およびご家族の意向に沿う事が難しくなり、長期的な不自由をお掛けする事になりました。・今年度は、退所者は8名と少なかったのですが、年間を通して入院者が絶えない状況でした。・外部研修会への参加に付いては、新型コロナの感染症対策により、開催中止となったり、オンラインでの開催となりました。当初はオンラインでの開催に抵抗がありましたが、移動に時間を取られない、好きな時間に受講できる等のオンラインならではの利点もあり、徐々に定着してきました。・内部研修会においては、ガウンテクニックなどの、感染症対策に重点をおいた研修に力を入れました。・資格取得に付いては、1名が介護福祉士国家資格を取得しました。
	地域との関係向上	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナ感染対策により、納涼祭等の施設行事だけでなく、地域行事等の対外的な交流についても、殆ど実施出来ませんでした。・今年1月に発生したグループホーム蘭での新型コロナ感染者発生時には、西予市災害時相互応援協定により、当施設からも対応職員を1名派遣しました。・夜間避難訓練については、例年お願いしていた地域の方の応援は中止とし、消防署の指導を仰ぎながら入所者と職員のみで実施しました。

	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉機器については、毎月、福祉機器管理委員会が点検を行っています。また施設内環境については、用務員を中心に点検を行っています。いずれも入所者の安全に直結する事なので、危険箇所を把握し早期に修繕する事で、事故に繋がることがないよう努めました。 ・福祉用具の購入および大型機器の買換えについて、点検および修繕を適切に行えたことで、計画していた買換えを行う事はありませんでした。 ・当初予算に加え、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、職員玄関口手洗い設置、館内Wi-Fi環境整備、館内Webカメラ設置、主要ヶ所に仕切戸設置等を行い、生活環境、利用環境の整備を図りました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の活用を行いました。 ・福祉避難所の整備として、西予市より毛布20枚の支給を受けました。
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職員と生活相談員は、日々の様子や状態変化時の報告など、家族とこまめに連絡を取り信頼関係の構築に努めました。加えて、感染症対策による面会規制により、家族との繋がりが希薄になる事がないよう、毎月担当職員より入所者の様子を伝える手紙と写真を家族へ送付しました。 ・園の様子を発信するツールとして、広報誌「しいのき」を年3回発行、ホームページブログをその都度更新しました。 ・苦情の有無にかかわらず、ホームページと広報誌を通じて、苦情解決結果を公表しました。（8月：1件）
福祉人材に関する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・6月より、各委員会開催時に「法人基本方針」の一斉唱和を始めました。 ・マニュアル等の整備については、視覚的に分かり易いものではないので、引き続き整備を行います。 ・業務分担の明確化については、業務改革委員会で施設の現状を把握するために、全職員対象にアンケートを行い、業務上のムリ・ムダ・ムラの洗出しを行いました。改善の優先度の中で、引き続き見直しを行います。
	人材確保に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年8月に新人職員1名入職、今年1月末には介護技能実習生2名を受入れました。 ・夏休みチャレンジボランティアの受入れについては、入所者様との接触を避ける形で4名の方に参加していただき、介護への興味を深めてもらうきっかけ作りを行いました。 ・「出前講座」については、感染対策を考慮したプログラムに変更し野村高校にて1回実施しました。
	人材定着に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技能実習生の受入施設として、職員には受入れ前に、実習生との向き合う上でのポイントについての研修会を実施しました。 ・介護技能実習生には、技能面での教育、生活面での指導、日本語教育など、試行錯誤ではありますが様々な角度から職員全体で支援を行っています。 ・健康診断とストレスチェックを実施し、職員の健康面とメンタル面の変化の把握に務めました。 ・職員互助会については、感染対策により全ての予定が中止となり、交流、親睦の場としての機能は果たせませんでした。

	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近なスキルとして重要な介護技術の習得については、高齢者部会で行う介護伝達講習会で受講した職員が、施設内で行うマイスター勉強会で、主として新人職員に教える流れが出来ています。また、自主的に勉強会を開く事もあり、スキルに不安を抱えている職員が参加しています。 ・ エルダー制度を通じて、新任職員の育成と、先輩職員の成長を促すことができました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンス研修を行い意識付けを図りました。 ・ 規程規則の変更の際には、変更点を開示し周知を図っています。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月主要コストや稼働率等をデータベースに入力する事で、年間の推移が確認でき、コスト削減意識の向上が図れました。 ・ 介護保険における取得中の加算については、その都度加算要件の可不可を確認し、取得可能な加算については制度の理解を深めながら取得の可否を判断し検討する事が出来ました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月	家族会役員会(書面表決) 西予市市議會議員選挙不在者投票 (15名)	新任職員研修：2名	
5月	開園記念日 避難通報訓練 家族会総会 (書面表決)	開口維持、口腔ケア (感染対策により書類配布し自主研修)	第1回入所検討委員会 オンライン面会開始
6月		身体拘束、虐待 (29名)	ガラス越しでの面会開始 屋内指定ヶ所での面会開始
7月	外出 (城川方面)	外国人介護人材受入について (24名)	
8月	健康診断 (職員) 納涼祭 (中止) ※代替えとして、ユニット単位で夏祭り開催	新型コロナウイルス感染対策 (eラーニング：26名)	感染拡大により県外の方は、ガラス越しでの面会 夏休みチャレンジボランティア (延べ10名) 第2回入所検討委員会
9月	夜間避難訓練 (職員、入所者のみ)	褥瘡、排泄ケア (20名)	福祉サービス第三者評価第三者評価事業受審
10月	外出 (野村ダム：22名) 敬老会	感染予防 (27名)	職員奉仕活動 (10名) インフルエンザ予防接種 仕切戸設置工事 館内Wi-Fi環境整備工事 館内Webカメラ設置工事 持ち物チェックアプリ運用開始
11月	亥の子来園 健康診断(入所者、職員)	ガウンテクニック講習会 (全職員対象) AED、医療行為 (27名)	書庫等書類および備品整理 福祉サービス第三者評価第三者評価報告会 出前講座 (野村高校) 第3回入所検討委員会

12月	風水害避難訓練 地震避難訓練 忘年会・餅つき	身体拘束、事故防止 (25名)	
1月	お歳取り 消火訓練	看取りについて パワハラ防止 (感染対策により書類 配布し自主研修)	グループホーム蘭へ応援職員1名 派遣 介護技能実習生2名雇用開始 介護福祉士国家試験
2月	節分 防犯訓練	サービス業務の効率化 を目指す慣習(27名)	第4回入所検討委員会
3月	雛祭り 火災避難・放水訓練 退職、異動者お別れ会		
毎月	運営委員会、リーダー会議(サービス向上、業務改革)、リスク会議(褥瘡対策危機管理・事故防止、身体拘束対策適正化、虐待対策)、ユニット会議、食事企画、編集、入浴、介護マイスター、安全点検、クラブ・サークル活動、内科回診、ユニット炊飯、選択メニュー、喫茶じいのき、散髪、高齢者福祉部会介護技術伝達講習会		
定期	職員会、リーダー会議(感染症対策、食中毒対策、医療行為対策、安全衛生推進)、リスク会議(防災対策)、排泄、内部研修、エルダー、入所検討、カンファレンス、内部研修会、避難訓練、健康診断、協会専門委員会、法人研修会		
随時	相談・苦情対策委員会、里帰り、イベント外出、バイキング、地域交流、外国人介護人材受入施設連絡会		
毎日	朝礼、ミーティング		

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,463	97.5%	96.1%
5	1,550	1,508	97.3%	97.8%
6	1,500	1,478	98.5%	98.7%
7	1,550	1,485	95.8%	97.7%
8	1,550	1,473	95.0%	97.7%
9	1,500	1,439	95.9%	96.4%
10	1,550	1,438	92.8%	94.9%
11	1,500	1,454	96.9%	97.0%
12	1,550	1,505	97.1%	90.8%
1	1,550	1,513	97.6%	95.4%
2	1,400	1,352	96.6%	95.2%
3	1,550	1,490	96.1%	96.1%
合計	18,250	17,598	96.4%	96.1%

入所者要介護度別

(R 3年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	0	4	13	33

平均介護度 4.58

男性 14名 女性 36名

平均年齢 88.1歳

7. 短期入所生活介護事業所しいのき園

(1) 行動指針

- 『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』
- ①安心安寧な生活の提供と維持に努めます。
 - ②基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
 - ③自分たちが利用したい施設を目指します。
 - ④社会資源として地域に貢献します。
 - ⑤常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・ハッピープランの実現に向けた取組みを計画していましたが、感染症対策により生活全般に制約が掛かり、プランの実現が難しい状況が続きました。 ・介護、看護、相談員、施設ケアマネが連携し、個別ケアの充実を図りました。 ・毎月開催している、身体拘束対策適正化委員会においては、検証及び拘束解除へ向けての取組みを行い、虐待対策委員会においては、「虐待防止チェックリスト」を実施し、グレーディングの洗い出しと虐待ゼロに努めました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・8月に福祉サービス第三者評価を受審し、11月に評価結果の報告会が行われました。評価結果を基に、出来るところから改善への取組みを行っています。 ・11月にお客様満足度アンケートを実施し、利用者や家族の意向の確認を行い、課題を改善し意向に沿った施設サービスに努めました。 ・外部研修会への参加については、新型コロナの感染症対策により、開催中止となったり、オンラインでの開催となりました。当初はオンラインでの開催に抵抗がありましたが、移動に時間を取られない、好きな時間に受講できる等のオンラインならではの利点もあり、徐々に定着してきました。 ・内部研修会においては、ガウンテクニックなどの、感染症対策に重点をおいた研修に力を入れました。 ・資格取得について、1名が介護福祉士国家資格を取得しました。
	地域との関係向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染対策により、施設行事だけでなく地域行事等の対外的な交流についても、殆ど実施出来ませんでした。 ・今年1月に発生したグループホーム蘭での新型コロナ感染者発生時には、西予市災害時相互応援協定により、当施設からも対応職員を1名派遣しました。 ・夜間避難訓練については、例年お願いしていた地域の方の応援は中止し、消防署の指導を仰ぎながら利用者と職員のみで実施しました。

	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉機器については、毎月、福祉機器管理委員会が点検を行っています。また施設内環境については、用務員を中心に点検を行っています。いずれも入所者の安全に直結する事なので、危険箇所を把握し早期に修繕する事で、事故に繋がることがないよう努めました。 ・福祉用具の購入および大型機器の買換えについて、点検および修繕を適切に行えたことで、計画していた買換えを行う事はありませんでした。 ・当初予算に加え、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、職員玄関口手洗い設置、館内Wi-Fi環境整備、館内Webカメラ設置、主要ヶ所に仕切戸設置等を行い、生活環境、利用環境の整備を図りました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の活用を行いました。
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職員と生活相談員と施設ケアマネは、日々の様子や状態変化時の報告など、こまめに連絡を取り信頼関係の構築に努めました。 ・園の様子を発信するツールとして、広報誌「しいのき」を年3回発行、ホームページブログをその都度更新しました。 ・苦情の有無にかかわらず、ホームページと広報誌を通じて、苦情解決結果を公表しました。
福祉人材に関する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・6月より、各委員会開催時に「法人基本方針」の一斉唱和を始めました。 ・マニュアル等の整備については、視覚的に分かり易いものではないので、引き続き整備を行います。 ・業務分担の明確化については、業務改革委員会で施設の現状を把握するために、全職員対象にアンケートを行い、業務上のムリ・ムダ・ムラの洗出しを行いました。改善の優先度の中で、引き続き見直しを行います。
	人材確保に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年8月に新人職員1名入職、今年1月末には介護技能実習生2名を受入れました。 ・夏休みチャレンジボランティアの受け入れについては、利用者様との接触を避ける形で4名の方に参加していただき、介護への興味を深めてもらうきっかけ作りを行いました。 ・「出前講座」については、感染対策を考慮したプログラムに変更し野村高校にて1回実施しました。
	人材定着に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技能実習生の受入施設として、職員には受入れ前に、実習生との向き合う上でのポイントについての研修会を実施しました。 ・介護技能実習生には、技能面での教育、生活面での指導、日本語教育など、試行錯誤ではありますが様々な角度から職員全体で支援を行っています。 ・健康診断とストレスチェックを実施し、職員の健康面とメンタル面の変化の把握に務めました。 ・職員互助会については、感染対策により全ての予定が中止となり、交流、親睦の場としての機能は果たせませんでした。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なスキルとして重要な介護技術の習得については、高齢者部会で行う介護伝達講習会で受講した職員が、施設内で行うマイスター勉強会で主として新人職員に教える流れが出来ています。また、自主的に勉強会を開く事もあり、スキルに不安を抱えている職員が参加しています。 ・エルダー制度を通じて、新任職員の育成と、先輩職員の成長を促すことができました。

マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・コンプライアンス研修を行い意識付けを図りました。 ・規程規則の変更の際には、変更点を開示し周知を図っています。
	健全な財務規律の確立	・毎月主要コストや稼働率等をデータベースに入力する事で、年間の推移が確認でき、コスト削減意識の向上が図れました。 ・介護保険における取得中の加算については、その都度加算要件の可不可を確認し、取得可能な加算については制度の理解を深めながら取得の可否を判断し検討する事が出来ました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月		新任職員研修：2名	4/20～5/7新型コロナウイルスの感染拡大により営業停止
5月	開園記念日 避難通報訓練	開口維持、口腔ケア (感染対策により書類配布し自主研修)	オンライン面会開始
6月		身体拘束、虐待 (29名)	ガラス越しでの面会開始 屋内指定ヶ所での面会開始
7月		外国人介護人材受入について (24名)	
8月	健康診断（職員） 納涼祭（中止） ※代替えとして、ユニット単位で夏祭り開催	新型コロナウイルス感染対策 (eラーニング：26名)	感染拡大により県外の方は、ガラス越しでの面会 夏休みチャレンジボランティア（延べ10名）
9月	夜間避難訓練 (職員、入所者のみ)	褥瘡、排泄ケア (20名)	福祉サービス第三者評価第三事業受審
10月	敬老会	感染予防 (27名)	職員奉仕活動 (10名) 仕切戸設置工事 館内Wi-Fi環境整備工事 館内Webカメラ設置工事 持ち物チェックアプリ運用開始
11月	亥の子来園 健康診断(入所者、職員)	ガウンテクニック講習会 (全職員対象) AED、医療行為 (27名)	書庫等書類および備品整理 福祉サービス第三者評価第三事業報告会 出前講座（野村高校） 第3回入所検討委員会
12月	風水害避難訓練 地震避難訓練 忘年会・餅つき	身体拘束、事故防止 (25名)	
1月	お歳取り 消火訓練	看取りについて パワハラ防止 (感染対策により書類配布し自主研修)	グループホーム蘭へ応援職員1名派遣 介護技能実習生2名雇用開始 介護福祉士国家試験
2月	節分 防犯訓練	サービス業務の効率化を目指す慣習 (27名)	第4回入所検討委員会

3月	雑祭り 火災避難訓練 放水訓練 退職、異動者お別れ会		
毎月	運営委員会、リーダー会議(サービス向上、業務改革)、リスク会議(褥瘡対策危機管理・事故防止、身体拘束対策適正化、虐待対策)、ユニット会議、食事企画、編集、入浴、介護マイスター、安全点検、クラブ・サークル活動、内科回診、ユニット炊飯、選択メニュー、喫茶しいのき、散髪、高齢者福祉部会介護技術伝達講習会		
定期	職員会、リーダー会議(感染症対策、食中毒対策、医療行為対策、安全衛生推進)、リスク会議(防災対策)、排泄、内部研修、エルダー、入所検討、カンファレンス、内部研修会、避難訓練、健康診断、協会専門委員会、法人研修会		
随時	相談・苦情対策委員会、里帰り、イベント外出、バイキング、地域交流、外国人介護人材受入施設連絡会		
毎日	朝礼、ミーティング		

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	133	44.3%	97.3%
5	310	196	63.2%	95.8%
6	300	218	72.7%	97.3%
7	310	240	77.4%	84.8%
8	310	260	83.9%	79.4%
9	300	283	94.3%	88.0%
10	310	250	80.6%	98.7%
11	300	252	84.0%	84.3%
12	310	243	78.4%	87.7%
1	310	243	78.4%	82.3%
2	280	242	86.4%	84.5%
3	310	278	89.7%	74.2%
合計	3,650	2,838	77.8%	87.9%

利用定員 10名

平均介護度 2.3

8. 特別養護老人ホーム寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点事項	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待のチェックとして「自己点検シート」への記入を年2回実施。各自がグレーゾーンについての認識を共有し、その結果については、虐待対策委員会にて検証を行いました。 ・内部研修において、年2回、高齢者虐待防止、身体拘束排除について、日頃のケアを振り返りながら、学びました。繰り返し行う事で、教育の徹底を図っています。 ・ご本人やご家族から聞き取りを行い、好みや生活歴を把握する事で、個別の支援や関りを持つことが出来ました。 ・定期的なカンファレンス時には、ご本人、ご家族に意向の確認を行いました。普段の何気ない会話の中で言われたことを汲み取り、ハッピープランに反映させました。プランが外出や里帰りの方が多くおられましたが、新型コロナの感染状況を踏まえ、出来る範囲で実施しました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各職種が協力して、第三者評価受審に向けて準備を行いました。日頃の取り組みを振り返り、評価を受ける事で、改善点が明確化しました。利用者様の生活の質の向上に繋げていきたいです。評価結果については、ホームページでの公表を行いました。 ・顧客満足度調査を実施し、利用者様やご家族の意向を確認する事が出来ました。その結果を踏まえ、指摘事項の改善を行いました。また、調査結果については、ホームページでの公表を行いました。 ・嗜好調査を年2回実施出来ました。 ・新型コロナウイルス感染予防対策のため対外的な研修はほとんど参加出来ませんでした。感染症に関してのWEB研修や、ZOOMを使用しての成長支援研修には参加しました。新たな研修方法を取り入れることが出来ました。 ・資格取得については、介護福祉士1名、介護支援専門員1名。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策のため、各地域での行事は中止となり、ボランティアの受入れも出来ませんでした。 ・近場でのドライブ、里帰りは実施しましたが、ご家族との交流も短時間での対応となりました。 ・城川、魚成地区での防災活動は実施されませんでした。県が実施するシェイクアウト訓練には参加しました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施している福祉機器の点検結果を踏まえ、修理もしくは買い替え等の必要性の確認が出来ました。 ・リクライニング車椅子(1)、車椅子(2)、ナースコール(3)、センサーマット(3)の購入を計画的に行い、福祉機器の整備が図れました。 ・5月、11月に、厨房器具点検を実施しました。大型厨房機器も古くなってしまっており、修繕が増えていた状況。業者に定期点検してもらい、早めの整備を行っています。 ・喫茶コーナーは、日向ぼっこや食事作り、利用者様の食事の場としても活用出来ました。

社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の活用。 ・新規利用者の方には、負担限度額申請の報告、書類作成援助を行いました。 ・6月に給水ポンプ故障による断水があり、防災倉庫にある500ℓタンクやポリタンクの重要性を感じました。毎月、防災倉庫の点検を実施し、整備も実施しています。
社会に対する基本姿勢	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「ひだまり」年3回発行する事が出来ました。 ・新型コロナの影響で、ご家族との面会も出来ない状況であり、ブログの投稿回数を増やし、日頃の様子を伝えられるよう発信することが出来ました。（月平均約9回投稿） ・9月に第三者評価を受審し、その評価結果を12月にホームページ上に公表しました。 ・苦情の有無に関わらず、ブログと広報誌を通じて、苦情解決結果を公表しました。
	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念と基本方針の周知徹底を図るために、各委員会にて唱和を行いました。 ・マニュアルの整備については、各委員会で見直しを行いました。また業務改革委員会において、その都度、業務内容の検討をし、繰り返し周知と評価を行いました。今後も継続的に整備を行います。
	人材の確保に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・城川中学生2名が介護体験実習に来られました。今回は新型コロナウイルス感染予防対策により利用者様と直接関わる事は出来ませんでした。高齢者体験等を実施し、高齢者への理解を深め、介護に対して興味を持つてもらえるように努めました。 ・外国人人材4名を、他施設で受け入れるための準備をともに行いました。準備段階から関わる事により、同じ協会職員として、また介護職員としての仲間意識を高めることができました。
福祉人材に対する基本姿勢	人材の定着に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・エルダー制度を活用し、新人とエルダーで業務の振り返りを行う事で、双方の育成を図る事が出来ました。 ・成長支援制度において、チーム目標の設定を行い、個別目標を掲げることで、チーム力向上が図れました。 ・毎月の安全点検日に危険個所の洗い出しを行い、労働環境の整備に努めました。（主な取組は以下の通り） <ul style="list-style-type: none"> ①厨房トイレ改修(和式から洋式に変更) ②宿直室の改修 その他、居室手洗い器、自動給水ポンプ、消火栓設備、大型乾燥機、特殊浴槽等の修理を行いました。 ・互助会の行事は、新型コロナウイルス感染予防対策により、実施出来ませんでした。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症研修会、喀痰吸引研修会等は新型コロナ感染予防対策により参加出来ませんでした。 ・介護支援専門員1名、介護福祉士1名、防災士1名合格 介護福祉士目標80%以上に対し、実績78%。
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いへの配慮に努めました。 ・新人教育、職員会、内部研修において、法令遵守についての研修を行い、意識の徹底を図りました。 ・各委員会でマニュアルの見直しを行い、内容についても認識してもらうよう努めています。
マネジメントに対する基本姿勢	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月主要コストの検証を行いました。また、定期的にコスト状況を職員へ周知する事で、コスト削減意識の向上を図ることが出来ました。 ・来年度の介護報酬改正に向けて、情報のすり合わせを行い、新規加算についての理解を深め、取得可能な加算について検討を行うことが出来ました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月	西予市市議会議員選挙不在者投票 (10名) 通報訓練	新任職員研修：5名 医療行為研修：9名 成長支援チーム上期目標設定ミーティング（各部署に分かれて実施）	日本電信(株)電話改修工事
5月	食事委員会主催おやつ作り 家族会総会（書面にて）	感染症及び食中毒の予防、虐待防止・身体拘束排除：18名	「ひだまり」31号発行 今田地区道作り参加（職員：4名）
6月	梅狩り 避難訓練（火災想定） 利用者外出（1件/2名） 里帰り（1件/1名） 新緑の集い	事故発生防止：20名	ガラス越し、オンラインでの面会開始 厨房トイレ洋式へ改修 給水ポンプ故障により断水 その後取替え工事 第1回入所検討委員会
7月	苑内そうめん流し 利用者外出（4件/8名）	褥瘡対策・排泄ケア：18名	
8月	夏祭り（小規模で開催） 利用者外出（2件/4名）	新型コロナウイルス感染予防（eラーニングにて）：21名	健康診断（職員）
9月	苑内敬老会（百歳1名、白寿2名、米寿1名） 苑内芋焼き 利用者外出（1件/3名）	成長支援チーム前期目標振り返り及び後期目標設定ミーティング：19名	第2回入所検討委員会 第三者評価事業受審
10月	夜間避難訓練 利用者外出（1件/1名） 里帰り（1件/3名）	災害に関する研修：23名 看取りに関する研修：19名	介護支援専門員受験（2名） 城川中職場体験（2年生2名）
11月	里帰り（1件/1名） 利用者外食（1件/3名）	緊急時対応、新型コロナ発生時の対応、ガウンテクニック：22名	「ひだまり」32号発行 インフルエンザ予防接種（利用者・職員） 健康診断（利用者、職員） 新福祉車輛納車 第三者評価報告会 奥伊予荘合同奉仕作業
12月	苑内忘年会 餅つき ケーキ作り、クリスマス会	ガウンテクニック指導：13名 食事に関する研修：20名	シェイクアウトえひめ 南予企業魅力発信イベント 宇和島老人クラブみかん慰問 城川小学校生徒4名訪問 第3回入所検討委員会
1月	苑内新年会 不審者対応訓練	事故防止、高齢者虐待防止、身体拘束排除（書面にて）	「ひだまり」33号発行 グループホーム蘭応援職員1名派遣 介護福祉士受験（1名）

2月	節分豆まき 土砂災害想定訓練	成長支援後期チーム目標振り返り：17名	
3月	桜まつり 里帰り(2件/2名) 利用者外出(1件/2名)		第4回入所検討委員会
毎月	運営委員会・介護士会・誕生会・各専門委員会（給食、褥瘡対策、感染症対策危機管理・事故防止対策、身体拘束廃止、虐待対策、サービス向上、衛生管理食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修）、業務改革委員会 介護マイスター勉強会・高齢者福祉部会介護技術伝達講習会・安全点検 ※9月～11月、食事・排泄・入浴委員会でeラーニングを視聴しての新型コロナウイルス感染症についての研修を実施		
定期	入所検討委員会（3ヶ月毎）・カンファレンス・エルダー委員会 環境整備（3ヶ月毎）・消火訓練（3ヶ月毎） 内科回診（月・木）		
随時	避難訓練・防犯訓練・外出・ふるさと訪問・内部研修会 法人研修会・職員会・食中毒対策緊急会議・相談苦情対策委員会		
毎日	朝礼・ミーティング		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,473	98.2%	94.8%
5	1,550	1,489	96.1%	93.2%
6	1,500	1,426	95.1%	91.3%
7	1,550	1,456	93.9%	98.4%
8	1,550	1,455	93.9%	98.2%
9	1,500	1,432	95.5%	95.7%
10	1,550	1,496	96.5%	95.0%
11	1,500	1,426	95.1%	96.9%
12	1,550	1,455	93.9%	98.3%
1	1,550	1,461	94.3%	93.5%
2	1,400	1,343	95.9%	92.8%
3	1,550	1,506	97.2%	97.4%
合計	18,250	17,418	95.4%	95.5%

利用者要介護度別 (令和3年3月末現在)

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
0	0	11	20	19

平均介護度 4.2

平均年齢 86.6歳

男性 19名 女性 31名

9. 短期入所生活介護事業所寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点事項	令和2年度取組報告
利用者家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。 ・個別ファイルにアセスメントシートを保存し、利用時にはいつでも確認出来るようにしました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。 ・居宅ケアマネから提供されるケアプランに沿って、介護および看護が連携し利用者様の心身機能の維持に努めました。 ・利用者の在宅生活の維持を目的とし、家族の意向および利用者様の負担を考慮しながら居宅ケアマネと適宜調整を行い、家族の介護負担軽減に努めました。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、ボランティアの方等の交流が出来ませんでした。
	生活環境・利用者環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時は、在宅での生活環境に近付けた居室環境作りを行い、安心して安全に生活して頂けるよう努めました。 ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、居宅ケアマネとの連携を図り、利用前には聴き取りを十分に行い、健康状態を確認し、感染対策を行った上で、利用していただきました。 ・2月より、荷物チェックアプリを使用し、荷物チェックの正確性を高め、効率化を図っています。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。 ・利用者様の急変時の対応についての苦情が1件発生しております。臨時苦情対策委員会を開催し、今後の改善策について話し合い、ご家族に報告しております。その後、ご家族より、第三者委員会開催の申し出があり、来年度早々に開催予定です。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。
	人材の確保に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。
	人材の定着に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・特養と同様の内容にて実施。 ・新型コロナウイルス感染予防対策により、4/19～5/7まで新規受け入れ中止しましたが、定期的に利用される利用者様の確保、長期間利用される利用者様の増加により、稼働率は増加しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	その 他
4月	通報訓練	職員対象の研修等は、特養と同様の内容にて実施	4/19～新型コロナウイルス感染防止対策により新規受け入れ中止
5月	食事委員会主催おやつ作り		5/7～受け入れ再開
6月	梅狩り、新緑のつどい 避難訓練(火災想定)		
7月	苑内そうめん流し		
8月	寿楽苑夏祭り		特養と同様
9月	苑内敬老会、芋炊き		
10月	夜間避難訓練		
11月			
12月	苑内忘年会、餅つき ケーキ作り、クリスマス会		
1月	苑内新年会、防犯訓練		
2月	節分豆まき 土砂災害想定訓練		持ち物アプリ運用開始
3月	桜まつり		特養と同様
毎月	運営委員会・介護士会・誕生会・各専門委員会（給食、褥瘡対策、感染症対策危機管理・事故防止対策、身体拘束廃止、虐待対策、サービス向上、衛生管理食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修）、業務改革委員会 介護マイスター勉強会・高齢者福祉部会介護技術伝達講習会・安全点検 ※9月～11月、食事・排泄・入浴委員会でeラーニングを視聴しての新型コロナウイルス感染症についての研修を実施		
定期	エルダー委員会 環境整備（3ヶ月毎）・消火訓練（3ヶ月毎）		
随時	避難訓練・防犯訓練・地域行事外出・交流会・内部研修会 法人研修会・職員会・食中毒対策緊急会議・相談苦情対策委員会		
毎日	朝礼・ミーティング		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	182	60.7%	88.0%
5	310	205	66.1%	85.2%
6	300	264	88.0%	91.0%
7	310	273	88.1%	83.2%
8	310	258	83.2%	88.7%
9	300	273	91.0%	86.7%
10	310	277	89.4%	88.7%
11	300	290	96.7%	92.3%
12	310	275	88.7%	75.8%
1	310	292	94.2%	68.7%
2	280	264	94.3%	79.7%
3	310	268	86.5%	79.4%
合計	3,650	3,121	85.5%	83.9%

(新型コロナウイルス感染拡大に伴い4月19日～5月7日まで新規受け入れ中止)

利用定員 10名

平均介護度 2.4 (令和3年3月末現在)

10. デイサービスセンター寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点事項	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待のチェックとして「自己点検シート」への記入を年2回実施、各自がグレーゾーンについての認識を共有し、その結果については虐待対策委員会、ディ職員会にて検証を行いました。 ・利用者様からのニーズを適宜収集し、その旨をケアマネに連絡し、ケアプランに反映し個別へのサービス提供を実施しました。
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を受審しました。日頃の取り組みを振り返り、評価を受ける事で、改善点が明確化しました。より質の高いサービスの提供に繋げていきたいです。 ・顧客満足度調査を実施し、利用者様やご家族の意向を確認する事が出来ました。その結果を踏まえ、指摘事項の改善を行いました。食事についても同様に、意向や好みを確認し、各利用者様に応じた食事の提供をしております。 ・家族との連携を図り、ニーズの把握に努め、利用者様の個別対応や過ごし方の充実について、適宜職員間で協議し改善に向けた検討を行いました。 ・新型コロナウイルス感染予防対策のため対外的な研修は、参加出来ませんでした。感染症に関してのWEB研修や、ZOOMを使用しての成長支援研修には参加しました。新たな研修方法を取り入れることが出来ました。運転技能講習会、介護技術勉強会等ディ独自の研修も実施しました。 ・介護支援専門員1名、社会福祉士1名、受験しました。
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策のため、各地域での行事は中止となり、ボランティアの受入れも出来ませんでした。 ・城川、魚成地区での防災活動は実施されませんでした。県が実施するシェイクアウト訓練には参加しました。
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・予定されていたトイレ改修は、新型コロナウイルス感染予防対策により延期しました。 ・利用者様の身体状況に合わせた機能訓練を実施し、適宜ご家族にその様子等を報告することで、在宅での生活機能の維持向上に寄与することが出来ました。 ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、居宅ケアマネとの連携を図り、利用前には聴き取りを十分に行い、健康状態を確認し、感染対策を行った上で、利用していただきました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の活用。（利用延べ人数1名） ・入浴サービス利用実績（9回/年） ・お試しデイサービス利用実績（8名/年）
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「デイサービスセンター寿楽苑通信」を年3回発行する事が出来ました。 ・苦情受付けの実績はありませんでした。公表については、毎月ブログで行いました。

福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念と基本方針の周知徹底を図るため、各委員会にて唱和を行いました。 ・業務の標準化および共有化を図るため、「業務改善シート」を活用し、職員間での支援の差の解消に努めました。
	人材の確保に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・城川中学生 2名が介護体験実習に来られました。今回は新型コロナウイルス感染予防対策により利用者様と直接関わる事は出来ませんでした。高齢者体験等を実施し、高齢者への理解を深め、介護に対して興味を持つてもらえるように努めました。 ・外国人人材 4名を、他施設で受け入れるための準備をともに行いました。準備段階から関わる事により、同じ協会職員として、また介護職員としての仲間意識を高めることができました。
	人材の定着に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・エルダー制度を活用し、新任職員 1名の育成を実施。 ・成長支援制度において、チーム目標の設定を行い、個別目標を掲げることで、チーム力向上が図されました。 ・毎月の安全点検日および日々の車両点検において、危険個所の洗い出しを行い、労働環境の整備に努めました。 ・互助会の行事は、新型コロナウイルス感染予防対策により、実施出来ませんでした。
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染予防対策により、認知症研修等には参加出来ませんでした。各利用者様の症状の理解に努め、機能の維持、向上を図る計画書を作成し、サービスの提供を行いました。 ・介護福祉士目標80%以上に対し、実績82%。 ・介護支援専門員 1名、社会福祉士 1名、受験しました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いへの配慮に努めました。 ・新人教育、職員会、内部研修において、法令遵守に関しての研修を行い、意識の徹底を図りました。 ・各委員会でマニュアルの見直しを行い、内容についても認識してもらうよう努めています。
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策により、4/20～5/4まで受け入れ中止、その後も感染状況に合わせて利用制限を行っており、稼働率は低下しております。お試し利用等も行い、新規利用者様の利用に繋がるよう努力しました。 ・毎月主要コストの検証を行いました。また、定期的にコスト状況を職員へ周知する事で、コスト削減意識の向上を図ることが出来ました。 ・来年度の介護報酬改正に向けて、情報のすり合わせを行い、新規加算についての理解を深め、取得可能な加算について検討を行うことが出来ました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	その他の
4月	通報訓練	苑内新任者研修：1名 医療行為研修：2名 成長支援チーム上期目標設定 ミーティング（各部署に分かれて実施）	日本電信(株)電話改修工事 4/20～新型コロナウイルス 感染防止対策により受け入れ中止
5月	こいのぼり作り	感染症及び食中毒の予防、虐待 防止・身体拘束排除：8名	5/4～受け入れ再開 広報誌(春号)発行
6月	梅狩り 避難訓練(火災想定) たこ焼き作り	事故発生防止：7名	給水ポンプ故障により断水 その後取替え工事
7月	そうめん流し 町内外出	褥瘡対策・排泄ケア：8名	

8月	カレー作り、かき氷作り	新型コロナウイルス感染予防 (eラーニングにて) : 7名	健康診断
9月	運動会	成長支援チーム前期目標振り返り 及び後期目標設定ミーティング : 7名	第三者評価事業受審
10月	夜間避難訓練 ドライブ（龍澤寺）	災害に関する研修 : 7名 看取りに関する研修 : 7名	広報誌(秋号)発行 介護支援専門員受験（1名） 城川中職場体験（2年生2名）
11月	ドライブ（龍澤寺、日吉村）	緊急時対応、新型コロナ発生時の対応、ガウンテクニック : 7名	インフルエンザ予防接種 健康診断 新福祉車両納車 第三者評価報告会 奥伊予荘合同奉仕作業 出入口三枚引き戸取替え
12月	クリスマス会 門松作り、雪遊び	ガウンテクニック指導 : 9名 食事に関する研修 : 7名	シェイクアウトえひめ 実施指導延期
1月	お好み焼き作り 不審者対応訓練	事故防止、高齢者虐待防止、身体拘束排除（書面にて）	広報誌(新年号)発行 社会福祉士受験（1名） 積雪のため送迎等配慮及び時間短縮（7日～13日）
2月	節分行事 土砂災害想定訓練	成長支援後期チーム目標振り返り : 7名	積雪のため送迎等配慮及び時間短縮（17日～19日）
3月	のしろクラフト展見学 (伊予銀行野村支店)		のしろクラフト展作品展示
毎月	運営委員会・デイ職員会・誕生会・各専門委員会（給食、褥瘡対策、感染症対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束廃止、虐待対策、サービス向上、衛生管理、企画・広報、内部研修）介護マイスター勉強会・高齢者福祉部会介護技術伝達講習会・安全点検※9月～11月、デイ職員会の折に、eラーニングを視聴しての新型コロナウイルス感染症についての研修を実施		
定期	環境整備（3ヶ月毎）・エルダー委員会		
随時	避難訓練・外出・内部研修会・法人研修会・合同職員会・相談苦情対策委員会・食中毒対策緊急会議		
毎日	朝礼・終礼		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	650	288	44.3%	75.5%
5	650	394	60.6%	80.6%
6	650	423	65.1%	85.3%
7	675	479	71.0%	85.5%
8	650	444	68.3%	75.9%
9	650	471	72.5%	76.5%
10	675	496	73.5%	72.9%
11	650	449	69.1%	69.1%
12	650	484	74.5%	66.9%
1	600	382	63.7%	68.3%
2	600	423	70.5%	69.6%
3	675	519	76.9%	70.9%
合計	7,775	5,252	67.5%	74.8%

(新型コロナウイルス感染拡大に伴い4月20日～5月4日まで受け入れ中止)

利用定員 25名

1日平均利用 17.6人

営業日 月曜日から土曜日の週6日

介護度状況（令和3年3月末現在）

事業対象者	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
2	9	11	17	22	11	6	1

平均介護度 2.1 (要支援・第1号対象者を除く)

11. 養護老人ホーム 奥伊予荘

(1) 行動指針

『笑顔で よりそい ささえあう』

- ア 入所者の意思及び人格を尊重します。
- イ 家族との結びつきを大切にします。
- ウ 職員は知識及び技術の向上に努めます。
- エ 地域貢献に努めます。
- オ 信頼される施設を目指します。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	集団生活を送る中、利用者自身が自己の尊厳・権利について自覚して頂くと共に、健康で安全・安心した生活が送れることを目的とした生活のしおりを作成し、利用者・職員に配布することにより周知を図りました。 支援計画の作成時に自己決定と選択を重視したハッピープランの実現に取り組みました。
	サービスの質の向上	コロナ禍で充分な行事、イベント、外出等はできませんでしたが、その中でも実施方法を工夫し、ユニット単位での実施や、各ユニットごとの毎月のおやつ作り、利用者の希望を取り入れ個別外出を実施しました。また、満足度アンケート実施しました。 職員の研鑽のための施設内研修は、感染症対策、事故防止、危機管理、虐待身体拘束等について実施しました。外部講師を招いての研修会はコロナが落ち着いた時期に消防署指導による事故対策の救命救急を行いました。
	地域との関係の継続	例年実施していた城川小、中学校との交流会や城川保育所との芋植え・芋ほり交流会はコロナ禍で中止となりました。 老人会(弥生会)・婦人会・地域行事への参加も中止しました。
	生活環境・利用環境の向上	老朽化が進んでいた居室エアコンの改修工事、全70室終了しました。同じくCO2削減事業で共有スペースの灯油燃料のエアコンを電気による省エネルギーエアコンに改修工事を行いました。 安全な姿勢での食事摂取のためテーブルや車椅子、3モーターべッドの備品を整備しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組の推進	福祉避難所整備の充実（備蓄1週間分）しました。 近隣地域との災害協定の締結の向け引き続き、協議中です。 奥伊予のつどい（年6回開催）はコロナ禍で実施できませんでした。
	信頼と協力を得るための情報発信	年3回の広報紙「おくいよだより」を発行し、行事等があった場合、適宜ブログにて発信しました。
福祉人材に関する基本姿勢	人材マネジメントの推進	法人の基本理念・基本方針の周知に取り組み、成長支援制度を継続し、所属グループ及び個人の人材育成に取り組みました。
	人材の確保に向けた取り組み	感染状況が落ちているときにコロナ対策を行い城川中学校の福祉体験の受け入れ実施を行いました。ボランティアの受入は実施しませんでした。

	人材の定着に向けた取り組み	エルダー制度利用し、新任職員の育成を通じてエルダーの成長も促しました。また、コロナ禍で外部研修実施は見送りましたが、内部の充実に取り組み、知識、技能、接遇の向上にも努めました。
	人材の育成	毎月の委員会や職員会、研修会において介護・支援実践基礎、各制度、法令等の研修や協議を実施しました。介護技術向上のための講習参加者による勉強発表会を実施し全職員が技術の向上に取り組みました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	朝礼や、会議等で法令遵守の周知を図りました。
	健全な財務規律の確立	デマンド監視装置の対応周知し、半期ごとに電気代等の経費を算出し、職員へ掲示することにより節電、節水のコスト削減に努めました。 経営の安定が図れるよう体制を整え、行政と確認、協議しながら運営しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月	お花見 奥伊予太鼓来荘（中止） 五月人形（飾り付け） お楽しみ外出・ふるさと訪問（中止）	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 施設設備機器扱い	福寿会役員会（書面） 成長支援目標設定
5月	西予老施協合同遠足（中止） 健康診断（延期8月実施） 奥伊予のつどい（中止） お楽しみ外出	事故再発防止 リスクマネジメント 脱水・食中毒	福寿会役員会 広報誌発行①
6月	家族会（中止） JA年金友の会（中止） 奥伊予のつどい（中止） ほたる狩り（中止） 保育所交流・芋苗植え（交流中止）	感染予防 介護技術 県施設長研修（中止）	家族会総会（書面） 福寿会役員会 市合同(風水・土砂災害) 避難訓練（中止） 出前講座（延期） 草刈り
7月	七夕飾り そうめん流し（ユニット内） 奥伊予のつどい（中止） お楽しみ外出	介護技術 (医療器具扱い等) A E D研修・心肺蘇生他	(昼) 火災避難訓練 福寿会役員会
8月	納涼祭（中止） 盆法要（中止） 健康診断 お楽しみ外出	非常災害時の対応 介護技術	草刈り 福寿会役員会
9月	敬老の式典（ユニット内） 奥伊予のつどい（中止） お楽しみ外出	身体的拘束適正化、虐待防止 医療行為・転倒、骨折 介護技術	福寿会役員会 広報誌発行②

10月	地域交流大運動会（中止） 奥伊予のつどい（中止） 保育所交流・芋ほり (交流中止) 城川中学校文化祭（中止） お楽しみ外出	感染症予防 介護技術	城川中職場体験 2名 国勢調査 福寿会役員会 草刈り
11月	健康診断（夜勤者採血） 奥伊予ふるさと祭（中止） 伊予のつどい（中止） お楽しみ外出	介護技術（パット・排泄） 認知症ケア	(夜) 火災避難訓練 福寿会役員会
12月	西予市老施協合同避難訓練 クリスマス（ユニット内） 忘年会・餅つき (ユニット内) 寄贈ハマチ料理提供 お楽しみ外出	介護技術	(地震)避難訓練 福寿会役員会
1月	初詣 新年会（ユニット内） お楽しみ外出	医療行為、医療機器取扱 虐待防止、身体的拘束適正化 事故再発防止	福寿会役員会 広報誌発行③
2月	節分（ユニット内） お楽しみ外出	介護技術	福寿会役員会
3月	ひな祭り（飾り付け） 春彼岸法要（中止） お楽しみ外出 退職異動者お別れ会	介護伝達講習会	福寿会役員会・総会 防犯訓練
毎月	運営委員会・職員会・給食委員会・各ユニット会・処遇委員会・企画委員会 各専門委員会（事故再発防止、身体拘束廃止・医療的ケア、虐待防止対策 感染症対策～3ヶ月1回研修、内部研修） 誕生会・ボーリング大会（中止）・ユニット食・ホール喫茶		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、防災対策委員会、苦情解決委員会 内科回診（月1回）、散髪～月3回、ユニット全体消毒～週2回以上		
随時	地域行事外出・交流会・クラブ・法人研修会（中止）法人各委員会・部会(web他)		
毎日	ラジオ・リハビリ体操、機能訓練（平日）		

(4) 養護老人ホーム入所者（40人）利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,200	1,132	94.3%	94.3%
5	1,240	1,180	95.2%	93.5%
6	1,200	1,165	97.1%	96.8%
7	1,240	1,198	96.6%	96.7%
8	1,240	1,192	96.1%	92.3%
9	1,200	1,168	97.3%	89.4%
10	1,240	1,205	97.2%	95.1%
11	1,200	1,138	94.8%	95.0%
12	1,240	1,152	92.9%	97.5%
1	1,240	1,206	97.3%	93.3%
2	1,120	1,068	95.4%	97.5%
3	1,240	1,161	93.6%	97.3%
合計	14,600	13,965	95.7%	94.9%

入所者要介護度別

(R 3年3月末現在)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
28	1	4	6	1	0	0	0

男性 12名

女性 28名

入所者総数 40名

平均年齢

85.6歳

措置機関別入所状況

西予市

40名

(5) 奥伊予荘全体入所者（70人）利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,100	1,989	94.7%	96.3%
5	2,170	2,032	93.6%	95.5%
6	2,100	1,987	94.6%	94.0%
7	2,170	2,068	95.3%	95.2%
8	2,170	2,080	95.9%	94.6%
9	2,100	2,053	97.8%	91.8%
10	2,170	2,108	97.1%	94.2%
11	2,100	1,985	94.5%	96.9%
12	2,170	2,015	92.9%	96.1%
1	2,170	2,076	95.7%	93.2%
2	1,960	1,878	95.8%	98.4%
3	2,170	2,090	96.3%	98.5%
合計	25,550	24,361	95.3%	95.4%

入所者要介護度別

(R 3年3月末現在)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
28	1	4	12	12	7	3	3

男性 21名

女性 49名

入所者総数 70名

平均年齢

86.9歳

措置機関別入所状況

西予市

69名

宇和島市

1名

12. 特定施設入居者生活介護事業所奥伊予荘

(1) 行動指針

『笑顔で よりそい ささえあう』

- ア 入所者の意思及び人格を尊重します。
- イ 家族との結びつきを大切にします。
- ウ 職員は知識及び技術の向上に努めます。
- エ 地域貢献に努めます。
- オ 信頼される施設を目指します。

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和2年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	集団生活を送る中、利用者自身が自己の尊厳・権利について自覚して頂くと共に、健康で安全・安心した生活が送れることを目的とした生活のしおりを作成し、利用者・職員に配布することにより周知を図りました。 ケアプラン・支援計画の作成時に自己決定と選択を重視したハッピープランの実現に取り組みました。
	サービスの質の向上	コロナ禍で充分な行事、イベント、外出等はできませんでしたが、その中でも実施方法を工夫し、ユニット単位での実施や、各ユニットごとの毎月のおやつ作り、利用者の希望を取り入れ個別外出を実施しました。また、満足度アンケート実施しました。 職員の研鑽のための施設内研修は、感染症対策、事故防止、危機管理、虐待身体拘束等について実施しました。外部講師を招いての研修会はコロナが落ち着いた時期に消防署指導による事故対策の救命救急を行いました。
	地域との関係の継続	例年実施していた城川小、中学校との交流会や城川保育所との芋植え・芋ほり交流会はコロナ禍で中止となりました。 老人会(弥生会)・婦人会・地域行事への参加も中止しました。
	生活環境・利用環境の向上	老朽化が進んでいた居室エアコンの改修工事、全70室終了しました。同じくCO2削減事業で共有スペースの灯油燃料のエアコンを電気による省エネルギーエアコンに改修工事を行いました。 安全な姿勢での食事摂取のためテーブルや車椅子、3モーターべッドの備品を整備しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	福祉避難所整備の充実（備蓄1週間分）しました。 近隣地域との災害協定の締結の向け引き続き、協議中です。 奥伊予のつどい（年6回開催）はコロナ禍で実施できませんでした。 ケアマネからの依頼により、近隣の要介護認定者へポータブルトイレのお試し貸し出しをしました。
	信頼と協力を得るための情報発信	年3回の広報紙「おくいよだより」を発行し、行事等があった場合、適宜ブログにて発信しました。
福祉人材に関する基本姿勢	人材マネジメントの推進	法人の基本理念・基本方針の周知に取り組み、成長支援制度を継続し、所属グループ及び個人の人材育成に取り組みました。
	人材の確保に向けた取り組み	感染状況が落ちているときにコロナ対策を行い城川中学校の福祉体験の受け入れ実施を行いました。ボランティアの受入は実施しませんでした。
	人材の定着に向けた取り組み	エルダー制度利用し、新任職員の育成を通じてエルダーの成長も促しました。また、コロナ禍で外部研修実施は見送りましたが、内部の充実に取り組み、知識、技能、接遇の向上にも努めました。

	人材の育成	毎月の委員会や職員会、研修会において介護・支援実践基礎、各制度、法令等の研修や協議を実施しました。介護技術向上のための講習参加者による勉強発表会を実施し全職員が技術の向上に取り組みました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	朝礼や、会議等で法令遵守の周知を図りました。
	健全な財務規律の確立	デマンド監視装置の対応周知し、半期ごとに電気代等の経費を算出し、職員へ掲示することにより節電、節水のコスト削減に努めました。 経営の安定が図れるよう体制を整え夜間看護体制加算、サービス提供体制強化加算、介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算等への取り組みについて行政と確認、協議しながら運営しました。

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月	お花見 奥伊予太鼓来荘（中止） 五月人形（飾り付け） お楽しみ外出・ふるさと訪問（中止）	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 施設設備機器扱い	福寿会役員会（書面） 成長支援目標設定
5月	西予老施協合同遠足（中止） 健康診断（延期8月実施） 奥伊予のつどい（中止） お楽しみ外出	事故再発防止 リスクマネジメント 脱水・食中毒	福寿会役員会 広報誌発行①
6月	家族会（中止） JA年金友の会（中止） 奥伊予のつどい（中止） ほたる狩り（中止） 保育所交流・芋苗植え（交流中止）	感染予防 介護技術 県施設長研修（中止）	家族会総会（書面） 福寿会役員会 市合同(風水・土砂災害) 避難訓練（中止） 出前講座（延期） 草刈り
7月	七夕飾り そうめん流し（ユニット内） 奥伊予のつどい（中止） お楽しみ外出	介護技術 (医療器具扱い等) A E D研修・心肺蘇生他	（昼）火災避難訓練 福寿会役員会
8月	納涼祭（中止） 盆法要（中止） 健康診断 お楽しみ外出	非常災害時の対応 介護技術	草刈り 福寿会役員会
9月	敬老の式典（ユニット内） 奥伊予のつどい（中止） お楽しみ外出	身体的拘束適正化、虐待防止 医療行為・転倒、骨折 介護技術	福寿会役員会 広報誌発行②
10月	地域交流大運動会（中止） 奥伊予のつどい（中止） 保育所交流・芋ほり（交流中止） 城川中学校文化祭（中止） お楽しみ外出	感染症予防 介護技術	城川中職場体験2名 国勢調査 福寿会役員会 草刈り

11月	健康診断（夜勤者採血） 奥伊予ふるさと祭（中止） 伊予のつどい（中止） お楽しみ外出	介護技術（パット・排泄） 認知症ケア	(夜) 火災避難訓練 福寿会役員会
12月	西予市老施協合同避難訓練 クリスマス（ユニット内） 忘年会・餅つき (ユニット内) 寄贈ハマチ料理提供 お楽しみ外出	介護技術	(地震) 避難訓練 福寿会役員会
1月	初詣 新年会（ユニット内） お楽しみ外出	医療行為、医療機器取扱 虐待防止、身体的拘束適正化 事故再発防止	福寿会役員会 広報誌発行③
2月	節分（ユニット内） お楽しみ外出	介護技術	福寿会役員会
3月	ひな祭り（飾り付け） 春彼岸法要（中止） お楽しみ外出 退職異動者お別れ会	介護伝達講習会	福寿会役員会・総会 防犯訓練
毎月	運営委員会・職員会・給食委員会・各ユニット会・処遇委員会・企画委員会 各専門委員会（事故再発防止、身体拘束廃止・医療的ケア、虐待防止対策 感染症対策～3ヶ月1回研修、内部研修） 誕生会・ボーリング大会（中止）・ユニット食・ホール喫茶		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、防災対策委員会、苦情解決委員会 内科回診（月1回）、散髪～月3回、ユニット全体消毒～週2回以上		
随時	地域行事外出・交流会・クラブ・法人研修会（中止）法人各委員会・部会(web他)		
毎日	ラジオ・リハビリ体操、機能訓練（平日）		

(4) 特定施設生活介護事業所（30人）入所者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	900	857	95.2%	99.0%
5	930	852	91.6%	98.2%
6	900	822	91.3%	90.4%
7	930	870	93.5%	93.2%
8	930	888	95.5%	97.6%
9	900	885	98.3%	94.9%
10	930	903	97.1%	93.1%
11	900	847	94.1%	99.4%
12	930	863	92.8%	94.2%
1	930	870	93.5%	93.1%
2	840	810	96.4%	99.7%
3	930	929	99.9%	100.0%
合計	10,950	10,396	94.9%	96.1%

入所者要介護度別

(R 3年3月末現在)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	0	0	6	11	7	3	3

男性 9名 女性 21名

入所者総数

30名

平均年齢 87.4歳

西予市

29名

宇和島市

1名

XIV その他の公益事業

1. 修学支援事業

1-1 奨学金事業

(1) 行動指針

将来、社会福祉法人西予市野城総合福祉協会に就職を希望する者を対象に、修学資金を貸与して養成事業等の修学に資することにより、事業継続のための人材確保を図り、地域福祉の増進と充実に貢献し、有為な人材を育成していきます。

○具体的取り組み

月	実 施 報 告	
4	H P掲載 奨学金交付	奨学金貸付 2名
5	南予地域の高等学校へパンフレット送付	奨学金貸付 2名・奨学金返済 1名
6	法人広報誌掲載、リクルート活動	奨学金貸付 2名・奨学金返済 1名
7	リクルート活動 奨学金交付	奨学金貸付 2名・奨学金返済 1名
8	リクルート活動	奨学金貸付 2名・奨学金返済 1名
9	法人広報誌掲載、リクルート活動	奨学金貸付 2名・奨学金返済 1名
10	リクルート活動	奨学金貸付 2名・奨学金返済 1名
11	南予地域の高等学校へパンフレット送付	奨学金貸付 2名・奨学金返済 1名
12		奨学金貸付 2名・奨学金返済 1名
1		奨学金貸付 2名・奨学金返済 1名
2		奨学金貸付 2名・奨学金返済 1名
3		奨学金貸付 2名・奨学金返済 1名

○実施状況

令和2年度、新たな奨学生の確保はできませんでした。奨学金貸付者は2名、奨学金返済者が1名となっています。2名の奨学生の内1名が令和2年度卒業し、当法人の採用試験を受けて、令和3年度支援員として野村育成園で就労することになりました。

制度の周知を図り、学生の修学支援と法人の人材確保に努めます。

1-2 就職準備貸付金事業

(1) 行動指針

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会に就職が内定した学生に対し、就職のための準備金を貸し付けることで福祉人材の確保に繋げ、事業の継続を図り、地域福祉の増進と充実に貢献していきます。

○具体的取り組み

月	実 施 報 告	
10	就職準備貸付金事業案内	
12	就職準備貸付金貸付	就職準備貸付金の借受人 6名

○実施状況

当法人に就職が内定した5名の高校生、専門学校生1名に、就職のための準備金を1名につき30万円の貸付を行いました。就職に必要な転居費用、被服費、通勤用自動車等の費用、として利用することができました。

就職に関する様々な不安要素を少しでも軽減することができ、借受人及び保護者か

ら大変喜ばれています。

学校の就職担当者からは、就職準備貸付金事業について、学生に是非紹介をしたいとの声もあり、人材確保に繋がるのではないかと期待をしています。

1－3 看護師資格取得に関する奨学金事業

(1) 行動指針

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会の職員に看護師資格取得に関する奨学金を貸付し、看護師の人材確保に繋げ、事業の継続を図り、地域福祉の増進と充実に貢献していきます。

○具体的取り組み

月	実 施 報 告
9	職員周知
11	職員周知
12	職員周知
1	職員周知

令和2年度については、職員に制度の周知を図りましたが、申込者はありませんでした。資金の支援は利用できるものの、看護師資格を取るために休職して挑戦するという意思決定をするのには、職員も生活設計を見直す必要があり、なかなか利用に結びつきませんでした。

キャリアアップすることが出来る制度を整備することは、職員の選択肢を広げるという意味で大切です。今後も周知し、奨学金の利用に繋げていきます。

2. 法人後見事業

(1) 行動指針

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など意思決定が困難な人を、法律的に保護し、支えます。法人の持つ専門性やネットワークを最大限に活かしながら、地域福祉の推進の一端を担い、法人の理念や基本方針の実現を目指します。

○実施状況

令和2年度の受審件数は、2件でした。

本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度について、行政や西予市内の5社会福祉法人と連携し西予市としての取り組みについて情報の共有と、今後の在り方について協議していきます。

第1回法人後見運営委員会の開催

開催日 令和2年8月11日

出席者 運営委員 5名 オブザーバー 3名 法人 4名

審査 西予市長申し立ての2名の案件について審査を行う

*運営委員会での審査の後、理事長の判断により2名の受審を進めていくこととなる。

対象者	A氏
選任日	令和2年10月8日
確定日	令和2年10月24日
登記日	令和2年10月28日

対象者	B氏
選任日	令和2年10月13日
確定日	令和2年10月30日
登記日	令和2年11月4日

対象者	A氏
居住地	西予市宇和町
訪問日	令和2年10月23日
	令和3年1月6日
	令和3年2月16日
	令和3年3月22日

対象者	B氏
居住地	西予市宇和町
訪問日	令和2年11月9日
	令和2年12月11日
	令和3年2月25日

※コロナ禍で、訪問できない時は電話連絡にて体調、状況の確認をさせていただきました。

※通帳名義、郵便物転送手続きを行いました。

○今後の課題

平成30年に体制を整えて以降、西予市長申立による案件、その他妥当と思われる案件の申立がなく、受任をするに至らない状況が続いていましたが、今年度になりようやく進展が見られました。

西予市内でも今年度になり当法人を含めた3社会福祉法人が法人後見の受任を開始しており、今後も情報共有しながら西予市のセイフティネットとしての機能の充実、また職員のスキルアップを目指していきたいと考えています。

